

別冊 1

令和6年度使用

小学校用教科用図書の 選定に必要な資料

島根県教育委員会

各発行者記号は以下のとおりである。

記号	発行者名	記号	発行者名
A	東京書籍株式会社	I	光村図書出版株式会社
B	大日本図書株式会社	J	株式会社帝国書院
C	開隆堂出版株式会社	K	株式会社新興出版啓林館
D	学校図書株式会社	L	日本文教出版株式会社
E	株式会社三省堂	M	株式会社大修館書店
F	教育出版株式会社	N	株式会社文教社
G	株式会社教育芸術社	O	株式会社光文書院
H	一般社団法人 信州教育出版社	P	株式会社 G a k k e n

「選定に必要な資料」の観点は以下のとおりである。

1	内容、程度、分量等	記述された内容、程度が、児童の発達の段階に適合しているか。また、分量が適切であるか。
2	教材の選択や構成等	取り上げられた教材の選択や構成は、学習を効果的に進めるために適切なものになっているか。
3	興味・関心への配慮等	児童が興味・関心をもって学習できるように工夫されているか。
4	教科の特性、県の実態や課題への適合等	各教科の特性が生かされ、島根県の実態や課題に適合しているか。
5	各教科等及び実生活との関連についての工夫	各教科等における資質・能力との関連や、実生活へ生かせる工夫が盛り込まれているか。
6	その他	観点1～5にあてはまらない内容やその他特筆すべき事項
	総括	観点1～6及びその他についての記述や感性を育む要素などを総合したその教科用図書の全体的な特徴等

選 定 に 必 要 な 資 料

(国語) No. 1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
A	<p>○5・6年では、中学校への移行を考慮し、また、自主的・主体的に既習事項を確認しやすくするため、分冊ではなく1冊の教科書で対応している。</p> <p>○1年上では、スタートカリキュラム対応期の教材として、カラフルな紙面で構成されている。また、ページの数字も大きく表記されている。(1年上p. 1-29)</p>	<p>○4月を学習の基盤作りの期間として重視し、対話、情報の扱い、音読、ノート作り、図書館活用を単元の中に位置付けている。</p> <p>(3年上p. 10, 14, 26, 30)</p> <p>○物語の次に関連図書案内や感想文の書き方を、説明文の次に事実と考えの違いや相手と意識した意見文の書き方の学習が配列されている。(5年p. 204, 228)</p>	<p>○読み物教材では単元冒頭の挿絵や写真を大きくすることでインパクトをもたせ、内容への興味・関心を高める工夫がある。(4年下p. 8)</p> <p>○「新聞記事を読み比べよう」では、東京オリンピックにおける同世代の日本選手の活躍をとりあげ、児童の興味・関心につなげて比較できるよう工夫されている。(5年p. 94)</p>	<p>○「地域のみりよくを伝えよう」では、自分が住む町の魅力を調査し記事にすることで、ふるさと教育の視点や郷土への親しみ、誇りにつながる内容になっている。(5年p. 58)</p> <p>○高学年では、資料と関連を意識した教材を多く掲載し、複数の情報を読む力をつける工夫がなされている。(5年p. 216)</p>	<p>○「はたらく人に話を聞こう」では、学校で働く人にインタビューする言語活動が設定され、生活科の町探検の活動との関連が図られている。(2年上p. 34)</p> <p>○「インターネットの投稿を読み比べよう」や「インターネットは冒険だ」の単元を通して、現代社会におけるメディアリテラシーを獲得する内容になっている。(6年p. 90, 5年p. 46)</p>	<p>○読書単元「○年生の本だな」では著名人の読書に関するエッセイを載せるなど、読書への興味・関心を高める工夫がなされている。(4年上p. 108)</p> <p>○文字習得でつまずきやすい特殊音節や助詞の学習上の負担を軽減できるよう、「多層指導モデルMIM」を取り入れている。(1年上p. 58)</p>	<p>○2年以上は、単元の始めに「見通す」「取り組む」「振り返る」の3段階で「学習の流れ」が示されている。「見通す」では、単元で身に付ける言葉の力が提示され、学習計画に活用できるよう工夫されている。(5年p. 8)</p> <p>○600本近いデジタルコンテンツ(うち動画106本)、2000問以上のWeb問題が準備され、教材理解につながる支援がなされている。(5年p. 6)</p>
F	<p>○全学年で分冊を採用することで軽量化され、内容が複雑・高度化する高学年においても、ゆったりとした読みやすい紙面構成となっている。</p> <p>○読解のポイントの焦点化や挿絵の配置など配慮をしたうえで、計26ページの読み応えのある物語「雪わたり」をとりあげている。(5年下p. 36)</p>	<p>○「この間に何があった？」では、文字ではなく写真から違いを読み取る学習活動を通して、プログラミング的な思考も含めて考えを広げたり、言語化したることができる工夫されている。(2年下p. 20)</p> <p>○説明文については、「書くこと」に加えて「話すこと・聞くこと」とも関連させるなど、論理や情報を生かす工夫がされている。(5年下p. 90, 104)</p>	<p>○伝記を読み、内容を説明したり、自分の生き方について考えたりする学習では、2024年からの紙幣デザインの一人である津田梅子をとりあげている。(6年下p. 95)</p> <p>○「まんがの方法」では、身近な漫画の手法を通して読み手の理解につなげる効果や工夫に着目し、自分の考えを表現するための工夫について考えられるように配慮されている。(5年下p. 90)</p>	<p>○「ちいきの行事」では、調べて発表する言語活動が設定され、具体的な行事やそれに携わる人々の思いや願いに触れることができる内容となっている。(3年下p. 74)</p> <p>○「強く心にのこっていることを」では、伝えたい出来事について、時間の流れや気持ちを「始め・中・終わり」に整理し、自分の言葉で文章を書く学習過程を重視している。(3年下p. 98)</p>	<p>○「『生きものクイズ』でしらせよう」では、生活科と関連を図り、見つけた生きものについて調べ、クイズを作り、知らせ合う言語活動が設定されている。(2年上p. 62)</p> <p>○「わたしたちの絵文字」では、その前の説明文の学習を生かし、学校生活で絵文字を活用することについて友達と話し合う活動が設定されている。(3年下p. 22)</p>	<p>○「ごじゅうおん」では、色調とバランスだけでなく、形でも区別しやすいよう配慮されており、五十音表を読む際の負担感を軽減できるよう工夫されている。(1年上p. 40)</p> <p>○「くらしを便利にするために」「『便利』をさがそう」では、リアフリー、手話、点字などをとりあげ、多様な社会の理解につなげる内容になっている。(4年下p. 82)</p>	<p>○巻頭の「○年生で学ぶこと」では、何を学べ、どのような国語の力が身につくのか系統的に示され、一年間の学習の見通しと学んだことをどこで生かすのかも具体的に示されている。(3年下p. 4)</p> <p>○単元末の手引きは見開き2ページで、上段に学習の流れ、下段に児童の反応が示され、単元全体の流れを具体的に見通せるよう工夫されている。(3年下p. 52)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(国語) No. 2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
I	<p>○5・6年では、中学校への移行を考慮し、また、自主的・主体的に既習事項を確認しやすくするため、分冊ではなく1冊の教科書で対応している。</p> <p>○「すきなこと、なあに」では、自分が話したことを文章に書く活動を設定することで、架け橋期における書くことへの抵抗が軽減できるよう工夫されている。(1年上p.80)</p>	<p>○2年以上の「きせつのことば」では、季節に関する語句や詩、文章がイラストとともに掲載され、季節感を味わえるよう工夫されている。(5年p.44)</p> <p>○「帰り道」「友情のかべ新聞」など、魅力的な物語をとりあげ、児童が多様な解釈に触れることができるよう工夫されている。(4年下p.65,6年p.25)</p>	<p>○言語に関する特設単元「言葉について考えよう」では、統一キャラクターが登場し、漫画形式で言葉に親しみやすくなるよう工夫されている。(6年p.217)</p> <p>○「カンジーはかせの都道府県の旅」では、漢字の書き取りだけでなく、各都道府県の特産や名物、文化に関心を高め、愛着や誇りをもてる内容になっている。(4年上p.50)</p>	<p>○地域に伝わる民話や神話として「いなばの白うさぎ」が紹介され、地域の文化に関心を高め、愛着や誇りをもつことにつながる内容になっている。(2年上p.62)</p> <p>○「言葉の宝箱」で言葉を分類して語彙力を高めたり、「図を使って考えよう」で図やグラフ等情報資料の利点や活用を学んだりすることで、情報活用能力の育成につながるよう工夫されている。(6年p.309-312)</p>	<p>○「みの回りのものを読もう」「ポスターを読もう」では、看板やポスターをとりあげ、身近な生活の中にある情報や伝え方を扱っている。(2年上p.118,3年上p.124)</p> <p>○「こんな係がクラスにほしい」では、学級の身近な課題に取り組む、対話することの価値を実感することで、コミュニケーション能力の育成が図られるよう工夫されている。(3年上p.122)</p>	<p>○一年間の目標を巻頭に配置し、巻末の「○学年をふり返って」では、一年間で身につけた力を文字化して、今後の学習に見通しがもてるように配慮されている。(5年p.17,250)</p> <p>○2年以上の上巻冒頭に「ことばのじゅんびろうんどう」が設定され、学級づくり、仲間づくりにつながる内容がとりあげられている。(2年上p.14)</p>	<p>○単元冒頭に問いを引き出す発問を載せ、一人ひとりの問いを目標へつなぐことで、子どもの「問い」から学習が始まる主体的な学びの実現を図っている。(5年p.36)</p> <p>○説明文では、「れんしゅう」と主教材の2教材で段階的に学んだり、「読むこと」で学んだことを「書くこと」につないだりして、情報を読み、活用する力が高まるよう工夫されている。(3年上p.53,下p.43)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(書写) No. 1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
A	<p>○全学年半紙と同じ比率のB5変型判で、紙面構成や配色が統一されており、どの部分に何が書かれているか捉えやすいよう工夫されている。(6年p. 10-11)</p> <p>○低学年では始筆や終筆の位置を星印、丸印で示し、始筆や終筆を意識して練習できるように工夫されている。(1年p. 6, 2年p. 12)</p>	<p>○表紙裏の目次やインデックスに学習事項を置き、系統性や既習事項を確認できるよう工夫されている。(3年表紙裏p. 1)</p> <p>○全学年掲載の「学びを生かそう」では、読み手を想定した学習を設定し、一年間の学習を生かせるよう工夫されている。(3年p. 40-41, 5年p. 36-37)</p>	<p>○1・2年ではイラストをふんだんに使ったページを取り入れ、親しみを感じながら楽しく学ぶことができるよう工夫されている。(1年p. 37, 2年p. 36)</p> <p>○巻頭で日常の課題解決につながる流れを漫画で示し、目的意識をもって学ぶことができるよう工夫されている。(2年以上)</p>	<p>○「文字といっしょ」では、浜田市の石州半紙の作り方、隣県の熊野筆の作り方・筆職人の思いをとりあげている。(3年p. 18, 57)</p> <p>○マークや吹き出しによって対話的な学習を促す設問が示され、伝え合う学習ができるよう工夫されている。(3年以上)</p>	<p>○2年以上の「生活に広げよう」では、「れんらくちょう」や「実験記録」を教材にし、他教科や実生活で活用できるように工夫されている。(2年p. 15, 3年p. 26-27)</p> <p>○他教科等の学習と関連のある教材にはリンクマークをつけ、教科横断的な視点から学習に取り組めるよう工夫されている。(4年p. 24-25, 6年p. 38-39)</p>	<p>○左利きと右利きの鉛筆の持ち方の写真を示したり、練習用書き込み欄を左右に設けたりして、利き手の違いに配慮している。(1年p. 4-5, 6年p. 12)</p> <p>○授業や家庭学習で活用できるように、導入等で活用できるアニメーションと毛筆の運筆動画等を閲覧できる二次元コードを配置している。(6年p. 20-21)</p>	<p>○一単元に一つの「書写のかぎ」を置き、2年以上はその一覧を巻末に掲載して、学習のポイントを確認できるように工夫されている。(4年p. 10-11, 5年p. 42-43)</p> <p>○「しょしゃの学び方」に合わせて見開き2ページで紙面を構成し、学習の流れが捉えやすいよう工夫されている。(2年p. 2-3)</p>
F	<p>○全学年B5判で、右ページに単元名と文字のみを、左ページにポイントを配置している。(3年p. 24-25, 5年p. 12-13)</p> <p>○巻頭に授業の様子や手書き文字のカラー写真を置き、学びをイメージできるように工夫されている。(全学年p. 1)</p>	<p>○1年では「ますめなかのかくところ」を教材としてとりあげ、小さく書く文字の位置を確認しやすいよう工夫されている。(1年p. 18)</p> <p>○「あこがれ」では、見開き2ページにわたって、筆先の写真やポイントによって、ひらがなの書き方が丁寧に説明されている。(5年p. 27-29)</p>	<p>○友達の名前や好きな句など、学びを生かして自分の選んだ言葉を書けるよう促している。(1年p. 23, 3年p. 39)</p> <p>○3年の毛筆の導入では、漫画や写真で毛筆を学習する意義を説明することにより、児童の学習意欲が高まるよう工夫されている。(3年表紙裏p. 1)</p>	<p>○3年以上では筆圧を3段階に分け数字と図で分かりやすく示したり、朱墨を大きく配置したりすることにより、運筆を捉えやすいよう工夫されている。(3年p. 25)</p> <p>○「書いてつたえ合おう」では伝え合う学習との関連を図ることができる内容になっている。(3年p. 48-49, 4年p. 47-48)</p>	<p>○「レッツ・トライ」では、習得した書写の力を他教科等で使う学習を示し、関連を図ることができるよう工夫されている。(2年p. 26, 5年p. 30-35)</p> <p>○「知りたい文字の世界」では、生活とのつながりから文字文化への興味・関心を高めるよう工夫されている。(5年p. 11, 6年p. 23)</p>	<p>○「しょしゃのたいそり」では、見開き2ページで点画の書き方を示し、運筆を確認できるように工夫されている。(1年p. 45-46, 2年p. 10-11)</p> <p>○「はってん」では、先の学年の学習への興味・関心や見通しがもてるよう工夫されている。(2年p. 41, 6年p. 44)</p>	<p>○「学習の始めと終わりに書こう」では、硬筆での「ためし書き」と「まとめ書き」により、変容を確かめられるよう工夫されている。(3年p. 16-17)</p> <p>○全学年で1ページ内の情報量を多くして、書く時のポイントを詳しく丁寧に説明している。(3年p. 16-17)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(書写) No. 2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
I	<p>○全学年半紙と同じ比率のB5変型判で、1年と3年には「スタートブック」を付け、イラストや写真を多用しながら新しい学びについて分かりやすく説明している。(1年, 3年)</p> <p>○「たいせつ」では、学習のポイントを端的かつ視覚的に示し、巻末にもまとめることにより、学習の焦点化と系統性への工夫がなされている。(5年 p. 16, p. 30-31)</p>	<p>○文字や文を比較し、どちらが良いか考える教材では、「理由も合わせて考えよう」と投げかけている。(3年p. 42, 4年p. 26)</p> <p>○6年「書写ブック」では、小学校で学んだ内容を確かめ、学習や日常生活で主体的に生かせるよう工夫されている。(6年p. 21-28)</p>	<p>○猫のキャラクターによって点画や筆遣いなどの課題解決のヒントが示され、児童が親しみを持ちながら主体的に学べるよう工夫されている。(2年p. 24-25, 3年p. 28-29)</p> <p>○「私の文字」では著名人の文字とメッセージを紹介し、自分の文字を肯定的に捉えて学ぶ意欲につながるよう工夫されている。(6年p. 44)</p>	<p>○「しよしゃたいそ」や「せいらたいそ」により、書写の際の集中や姿勢の大切さを捉えられるよう工夫されている。(1年 p. 4-5)</p> <p>○「やってみよう」では、地域を題材とした教材を設け、読み手を意識して書写の学びを活用することができるように配慮されている。(4年p. 30-31)</p>	<p>○国語教材と一体化した教材や、全学年の「ことば」により、国語科や生活との関連を図ることができるよう工夫されている。(3年 p. 24, 4年p. 25)</p> <p>○「よこ書きの書き方」、「めざせ！新聞記者」では、他教科等との関連を図ることができるよう工夫されている。(2年p. 20, 5年 p. 24-25)</p>	<p>○全学年でSDGsに関連した情報をとりあげている。(4年p. 21)</p> <p>○「ねらい」と「学習の進め方」を下部にまとめて示し、学習の流れやポイントを児童も教師も具体的に捉えることができるよう工夫されている。(5年 p. 20-21)</p>	<p>○全学年とも1ページ当たりの情報量を少なくし、ポイントを絞って説明するようにしている。(3年p. 18-19)</p> <p>○学習の進め方を「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」に絞り、写真と囲みで行うことを示すことで、児童が主体的に取り組めるよう工夫されている。(3年p. 10-11, 5年表紙裏-p. 1)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(社会) No. 1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
A	<p>○「まなびのポイント」により、授業でどのような活動を行えばよいか分かりやすく示してある。(3年p.10)</p> <p>○社会科の「見方・考え方」が、キャラクターのイラストで示されており、児童に分かりやすい形になっている。(3年p.11)</p>	<p>○3・4年では、古くから残る建造物や地域の伝統的な文化などを調べる学習を設け、地域に対する誇りと愛情をもつことができるよう工夫されている。(3年p.34, 4年p.96-103)</p> <p>○「市のうつりかわり」を表す3つの絵が見開きに収められており、今と昔の様子について比較しやすいよう配慮されている。(3年p.116-117)</p>	<p>○学習場面に応じて、個別でも協働でも活用できる多様なデジタルコンテンツが用意されており、学習への興味・関心を高められるよう工夫されている。(4年p.131)</p> <p>○「いかす」場面では、学習したことを活用して社会的な事柄に参画したり提案発信したりする学習活動が紹介されている。(3年p.114-115)</p>	<p>○4年「きょう土の伝統・文化と先人たち」では、松江城の取り壊しの危機を救った人々のことや松江城を活かしたまちづくりの事例がとりあげられている。(4年p.128-129)</p> <p>○6年「今に伝わる室町文化」では、雪舟が島根県を訪れたことが記載されている。(6年歴史編p.58)</p>	<p>○「教科関連マーク」で、他の教科との関連が明示されており、教科横断的な視点から学習に取り組むことができるよう配慮されている。(4年p.142)</p> <p>○「〇〇さんの話」を紙面や動画で設け、仕事や社会活動にかかわる人の姿をとりあげ、共感的に人の生き方に学ぶことができるよう工夫されている。(5年上p.101)</p>	<p>○4年の表紙には「津和野町の子鷲踊り」が、6年では「石見銀山」がとりあげられている。(6年歴史編p.73)</p> <p>○5・6年の教科書は、2分冊構成されており、6年は政治・国際編、歴史編と資料内容が充実するとともに重量負担にも配慮されている。</p>	<p>○学習段階がわかるように「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という言葉が各ページに記載されている。(6年政治・国際編p.24-34)</p> <p>○「まとめる」場面では多様な表現活動を示し、習得した知識の定着と調べたことをもとに考えを表現することができるよう工夫されている。(6年歴史編p.74)</p>
F	<p>○全学年教科書巻頭に「社会科で使う見方・考え方」の解説ページがあり、キャラクターが「見方・考え方」の働きかたのヒントを語る形になっている。(3年p.5, 21)</p> <p>○全学年巻頭の「社会科の学習を広げる」に、ICTの活用例が、写真やイラスト、動画で紹介されている。(4年p.2-3)</p>	<p>○「自分で調べて考える」では、児童が資料を選んで「ポイント」を手がかりに読み取り、個に応じた主体的な学びを促す配慮がされている。(5年p.41)</p> <p>○歴史年表は、開くと古代から現代まで見える形になっている。また、裏面にイラストマップが掲載されている。(6年p.74-76)</p>	<p>○6年の歴史学習のページには、従来あった白黒写真をカラー化した画像資料があり、学習意欲を高める工夫がされている。(6年p.220)</p> <p>○デジタルコンテンツ(まなびリンク)が示された所では、動画視聴やクイズができ、興味・関心を高める工夫がされている。(4年p.10)</p>	<p>○5年「日本の国土とわたしたちの暮らし」では、竹島が島根県であること、韓国が不法占拠していること等、特設ページに記載されている。(5年p.17-18)</p> <p>○6年「私たちの暮らしを支える政治」では、人口減少をめぐる課題解決の例として松江市のコミュニティバスの事例が記載されている。(6年p.44)</p>	<p>○3年の巻頭では生活科からの接続を生かせる特設ページがあり、社会科への関心や期待が高まるよう配慮されている。(3年p.4)</p> <p>○3年「わたしたちの市の歩み」では、初めに「かわる道具とくらし」が位置づけられており、経験や体験を伴った学習から扱うような内容となっている。(3年p.130)</p>	<p>○5年「自動車の生産にはげむ人々」では感染症の蔓延に伴う産業の課題についてとりあげられている。(5年p.133)</p> <p>○3年の巻末では「わくわく社会科ガイド」のページがあり、調べ方やまとめ方が例示されている。(3年p.164)</p>	<p>○「次につなげよう」で次時の問いが想起できるようにしており、単元を通じた追究ができるよう工夫されている。(3年p.145)</p> <p>○全学年の巻頭で「学習内容」だけでなく、「追究の過程」を振り返るページがあり、自らの学び方について考えられるよう工夫されている。(6年p.6)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(社会) No. 2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
L	<p>○社会科の学習の進め方を3つのインデックス「問題を発見する力」、「問題を追究・かいけつする力」、「問題をほりさげ、よりよい未来をつくる力」で例示し、見通しをもって学習に臨めるように配慮されている。(3年p.2)</p> <p>○文章を正確に読み取れるように、本文を3つの役割に分けて示している。(6年p.16)</p>	<p>○ごみ処理の大切な工程の説明や、大分市の「3きり運動」の紹介により、児童が生活の中で具体的な取組を想像しやすいよう工夫されている(4年p.40-43,48)</p> <p>○歴史年表の中に「自分の年表をつくってみよう」というコーナーが設定されている。(6年巻末)</p>	<p>○47都道府県についてのすごろくがデジタルコンテンツとして設定しており、都道府県の位置や名称、特色に親しむことができるよう工夫されている。(4年p.8)</p> <p>○学習する過程で新たに出た疑問を「さらに考えたい問題」として例示し、各単元の学びがさらに深まるよう工夫されている。(5年p.263)</p>	<p>○隠岐国から都に送られた税の荷札が掲載されており、郷土の歴史に関心を向けられるよう工夫されている。(6年p.94)</p> <p>○大正時代の自由と権利を求める動きについて、山田孝野次郎や平塚らいてうの訴えを大きくとりあげてあり、人権・同和教育の学習として活用しやすいような内容となっている。(6年p.191)</p>	<p>○6年の「新しい日本の歩み」の単元では日本や国際社会を取り巻く課題として、新型コロナウイルスの事例がとりあげられている。(6年p.192,225)</p> <p>○3年の資料は棒グラフが未習でも読み取ることができるよう、絵グラフで表示されている。(3年p.33)</p>	<p>○SDGsを通して日本や世界の諸課題への意識を高められるよう、解決するための取組が全学年で32箇所設けられている。</p> <p>○4年「日本の都道府県を旅してみよう」では、都道府県の名称と位置が学習できるページが設定されている。(4年p.8-13)</p>	<p>○学習問題について考えを表現する例が紹介されており、児童がノートを活用し、深い学びが実現できるよう配慮されている。(4年p.64-65)</p> <p>○多面的な思考や理解へ高める学習となるよう「深め合い」活動が漫画形式で設定されており、主体的・対話的で深い学びができるよう工夫されている。(4年p.70-71)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(地図) No. 1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
A	<p>○全102ページの構成で、1/100万の地図の他に、4つの大都市圏では1/50万の地図で土地利用にのみ焦点を当てた地図表現を取り入れている。(p. 23, 31, 39, 43)</p> <p>○3年生からの使用に対応するため、地図のきまりや地図帳の使い方を全8ページまんが仕立てにしている。(p. 7-14)</p>	<p>○資料地図は、多様なテーマの主題図が大きく表現され、様々な特徴を考えることができるように整理された見やすい構成となっている。(p. 69-76)</p> <p>○「日本の歴史」では、日本と世界のごとの関連を考えながら日本の歴史について学習できるように構成されている。(p. 77-80)</p>	<p>○学習内容と関連した4つのデジタルコンテンツがあり、地図と実際の映像で土地利用の様子を確認することができるようになっている。(p. 35, 42, 48, 51)</p> <p>○土地の高さが陰影をなくした明るい色合いで表現されている。土地利用について、畑、牧草地の多い地域には、地図記号が掲載されている。(p. 51)</p>	<p>○竹島について、地図内には竹島の拡大地図と写真が併記されており、男島と女島の二つの島で構成されていることがよくわかるようになっている。(p. 25)</p> <p>○日本の自然災害について考察できるように日本列島全体の災害地図を配し、活火山として三瓶山の名が記されている。(p. 98)</p>	<p>○「日本の自然災害」では、日本列島の地図内に近年の台風・大雨・洪水の被害が大きかった場所が記されている。(p. 97-99)</p> <p>○「アフリカ」では多様な動物、「ヨーロッパ」では様々な料理を紹介しながら、地図と実生活の知識や文化が関連するよう工夫されている。(p. 60, 62)</p>	<p>○「日本の伝統文化」では、歴史的景観や祭り、食文化が掲載されており、国や各地の文化を理解することに役立つ立っている。(p. 81-82)</p> <p>○北極海やオセアニアを示した地図を配して世界を大観できる工夫がされている。(p. 55, 65)</p>	<p>○地形のようすの表現は、陰影をなくした明るい色合いとなっている。視覚的に理解しやすくなるよう、イラストや写真、俯瞰図を多用して工夫している。</p> <p>○資料地図のページでは、多様なテーマの主題図を大きく表現し、学習のねらいを明確にして理解しやすいように表記している。(p. 69-76)</p>
J	<p>○全132ページの構成で、日本の地方別に見る地図は、土地の高低と土地利用による色分けを組み合わせて視覚的に内容を捉えやすい地図表現となっている。</p> <p>○児童の発達の段階を配慮して、3年生にも読み取りやすい地図から、4年生以上向けの地図まで、学年ごとに使い分けができる工夫をしている。</p>	<p>○「広く見わたす地図」→日本の各地方を見る地図→世界の地図と配列し、発達の段階に応じて活用度の高い使用学年の配列になるよう配慮している。(p. 21-30)</p> <p>○「江戸時代の結びつき」では、歴史的な語句と位置を確認できる他に、学習に活用できる参勤交代や江戸をテーマにした地図が掲載されている。(p. 55, 69)</p>	<p>○47都道府県のデジタル地図では、地形や産業など8つの主題図を簡単に表示することができる。また、児童が興味・関心に応じて選択できる豊富なデジタルコンテンツがある。(p. 33-80)</p> <p>○地形のようすを、土地の高さによる色分けとカラーレリーフを組み合わせて表現している。(p. 33-80)</p>	<p>○竹島について、中国地方のページの拡大図で位置を示しながら「日本の領土とそのまわり」では、写真と解説で紹介している。(p. 31-32, 39)</p> <p>○石見銀山については、中国地方の地図で位置を表している他に、「日本の世界遺産」をまとめたページで紹介している。(p. 127)</p>	<p>○「日本の自然災害と防災」では、事例と防災・減災への取組が記され、防災意識をもち自分の行動を考えることができるように工夫されている。(p. 101)</p> <p>○持続可能な社会の実現に向けたSDGsの特設ページが設けられ、各地の取組や課題について理解できるようにしている。(p. 125)</p>	<p>○世界の州別地図やアメリカ合衆国の地図には、自然や文化などの特徴を表したイラストを掲載している。(p. 93)</p> <p>○二次元コードには地図とともに全ての世界遺産のカラー写真が掲載されており、視覚的に理解することができる。(p. 127)</p>	<p>○全体的に学習の段階を意識した構成となっており、導入期の3年生での利用を意識したページが位置付けられている。学年の発達の段階に応じて、内容の質と情報量が適切な地図や資料となっている。(p. 21-30)</p> <p>○地形のようすが捉えやすくなるように、立体感のある地図表現にしている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(算数) No. 1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
A	<p>○記述や展開は、授業の展開や児童の思考の流れを想定し、発達の段階に応じて図や発問、吹き出しを設け、児童が考える部分を残しながら進めることができるようになっている。(3年下p.54)</p> <p>○「算数のしあげ」は、問題の後に学習内容をまとめたものが記載されており、内容を振り返りながら復習できるよう工夫されている。(6年p.197)</p>	<p>○「単元プロローグ」では、対話を通して単元全体の課題を見出し、対話をしながら解決する活動を想起させる工夫がされている。</p> <p>○3年「三角形と角」の学習では、同じ直径の円の半径を用いた三角形を複数集め、その共通点を探す構成にすることで、対話が生まれる工夫がされている。(3年下p.85)</p>	<p>○「オープニングムービー」では、日常生活から課題意識をもち、学習への興味・関心をひきつける工夫がされている。(3年以上全20本)</p> <p>○身近なものと比較しながら 1 m^2 や 1 m^3 を実感できるように、AR(拡張現実)を使える工夫がされている。(4年下p.68, 5年上p.26)</p>	<p>○「今日の深い学び」を設定し、論理的思考力や数学的な表現力をさらに高められるようにしている。(6年p.127-129)</p> <p>○単元中盤から終盤にかけては、吹き出しや補助発問を段階的に減少させ、児童がそれまでに培った資質・能力を発揮し問題解決する機会を創出するよう工夫されている。(全学年)</p>	<p>○「いかしてみよう」は、単元の学習で大切にしたい数学的な見方・考え方を振り返り、生活や次の学習へ生かそうとする態度を養うことができるよう工夫されている。(2-6年)</p> <p>○「私と算数」では、世界レベルで活躍する人と算数との関わりを知るにより、算数の身近さや有用性を味わい、意欲が高まるよう工夫されている。</p>	<p>○複式の年間指導計画を立てやすいように関連する内容の単元を同時期に実施できるように配置されている。(5年小数のかけ算, 6年分数のかけ算)</p> <p>○1年「なんじなんぷん」の学習では、時計を大きく示し、操作して学習できるように付録として針を付属する工夫がされている。(1年②p.109)</p>	<p>○「オープニングムービー」、「単元プロローグ」を設定することで、学習への興味・関心をもって取り組めるような工夫がされている。(4年下p.14)</p> <p>○単元中盤から終盤にかけては、身につけた資質・能力を活用して問題を解決する力を培うような工夫がされている。(4年下p.21)</p>
B	<p>○2年以上の教科書が1冊で構成されており、振り返りや学び直しがしやすいよう配慮されている。</p> <p>○ページの左側に、問題をつかむ場面、自分で考える場面など、課題解決の過程ごとにタグがついており、スムーズに学習ができるよう工夫されている。(2年p.25)</p>	<p>○児童に意識させたい数学的な見方・考え方を「算数の大切な考え方」としてまとめ、問題によって使い分ける「ひらめきアイテム」として掲載している。(2年以上p.11)</p> <p>○巻頭で「算数の学び方」を提示し、話合いの基本となる話し方、聞き方を学年に応じた形で示す工夫がされている。(2年以上p.8,9)</p>	<p>○「ふくろう先生のなほど算数教室」を設定し、おもしろい算数の問題や話題に触れることで、算数の興味・関心が高まるよう工夫されている。(3年以上)</p> <p>○単元の導入は導入デジタルコンテンツによって動的に見ることができ、興味・関心が高められるよう工夫されている。</p>	<p>○「じっくり深く学び合おう！」では、協働的な学びを通し、自分の考えを図や式、文章などで表現する活動ができるようになっている。(6年p.37)</p> <p>○「読み取る力をのばそう」では、低学年から全国学力調査などで課題とされている読解力、表現力、活用力を高められるよう工夫されている。(全学年)</p>	<p>○「おうちで算数」では、家庭との連携を図り、学習したことを家庭での生活にも生かせるように促す工夫がされている。(1-3年)</p> <p>○「新しい学習がはじまるよ」では、導入の場面において、他教科や実生活との関連が図られるよう工夫されている。(4年p.120, 190, 212)</p>	<p>○「プログラミングにちょうせん」を1年生から設定し、2年生以上ではアンブラグドプログラムとビジュアルプログラミングの教材を取り入れる工夫がされている。</p> <p>○めあてに対応するまとめを「発見！」として掲載し、児童の言葉で学習を振り返るようになっている。</p>	<p>○「ひらめきアイテム」や「タグ」により、数学的な活動で働かせる見方・考え方や問題解決の過程を児童が確認しながら学習を進められるようになっている。(2年p.11, 53)</p> <p>○「じっくり深く学び合おう！」では、数学的に表現し伝え合う活動を通して、深い学びの実現が図られている。(6年p.37)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(算数) No. 2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
D	<p>○既習事項を想起し、それを基に解決の方法を考えたり、答えの見積もりをしたりできるような吹き出しを有効に活用している。(2年上p. 55)</p> <p>○6年に別冊をつけている。小学校の内容を振り返るとともに、中学校の内容の一部に触れられるようになっており、中学校の学習へのスムーズな接続に配慮されている。</p>	<p>○パチンナンバーゲームをとりあげること、学級で自然とやり取りが生まれ、整数について対話をして考察できる工夫がされている。(5年上p. 60)</p> <p>○単元末の演習問題「できるようにしたこと」で基本の確認ができ、「まなびを生かそう」で活用の力をつけることができるよう構成されている。</p>	<p>○算数の学びに特に重要だと考えられる9つの「見方・考え方」を9体の「考え方モンスター」とキャラクター化し、教科書を開きながらつねに「考え方モンスター」を見ることができるよう工夫されている。</p> <p>○単元の導入は漫画のような形式で示されており、学習意欲が高められるよう工夫されている。(4年下p. 33)</p>	<p>○全国学力調査の正答率が低い内容や、児童がつまずきやすい内容を「算数パトロール隊」で確認できるようになっている。(4年下p. 73)</p> <p>○「図や表を使って問題を考えよう」では、問題解決にあたって、図や表などをよりよく活用し系統的に学習ができるよう工夫されている。(3-6年)</p>	<p>○「算数をつかって」のコーナーでは、SDGsとの関連を図るだけでなく、自己評価としてパフォーマンス評価ができるよう工夫がされている。(3年下p. 71)</p> <p>○「もっと算数」の「深めよう」では、学んだことを使って、生活の中の問題を解決しようとする態度を育てようとしている。</p>	<p>○表紙は、日常生活にあるものと小さい人形を一緒に写すことで、算数が身近に感じられるよう工夫されている。</p> <p>○2年上から6年別冊までの「○年生で見つけた見方・考え方」をつなげて1枚のマップにすることができ、見ようとする態度を育てようとしている。</p>	<p>○「考え方モンスター」により、問題解決において働かせる数学的な見方・考え方を意識して学習を進められるようになっている。(3年下p. 162)</p> <p>○「算数をつかって」では現代の課題を算数を用いて考え、さらにパフォーマンス評価をすることで自分との関わりについて振り返る工夫がされている。(3年下p. 71)</p>
F	<p>○単元の間に「つながるミカタ」が掲載されており、働かせる見方・考え方を顕在化し、問題解決の場面で活用できるよう工夫されている。</p> <p>○巻末に「学びのマップ」が掲載されており、分からない箇所や関連する内容を振り返りやすいよう工夫されている。</p>	<p>○「算数ワールド」では、「ロボットレース」や「ドッジボールのコートをかこう」など、題材によって対話する必要性が出る工夫がされている。(2年上p. 117, 3年下p. 104)</p> <p>○問題解決の楽しさを味わいながら、学習の進め方や学ぶ態度を学級で共有できるように授業開きの特設教材が用意されている。</p>	<p>○単元のまとめでは、4コマ漫画でどのような数学的な見方・考え方を働かせたかについて楽しく振り返りができるよう工夫がされている。</p> <p>○表紙では、各学年の学習内容と関連するイラスト、それにまつわる「さんすうアニメ」を二次元コードからアクセスできるよう工夫がされている。</p>	<p>○学年始めの単元では、授業モデルを掲載し、問いをつなげる展開を学びのサイクルに位置付ける工夫がされている。</p> <p>○学年末「算数を使って考えよう」では、全国学力調査をふまえ、学習したことを総合的に活用する問題を掲載し、情報の読み取り、関連づけ、批判的考察につながるよう工夫されている。(2-6年)</p>	<p>○単元末「学んだことを使おう」では、算数の学習と日常の場面をつなげ、問題を解決することで「使える」学力になるよう工夫されている。(2-6年)</p> <p>○最後のページには、下学年は「算数見つけた！」のコーナー、上学年はコラムが掲載されており、生活と算数をつなげる工夫がされている。</p>	<p>○かけ算のきまりを「交かんのきまり」「分配のきまり」など、数学の用語を用いて定義している。(3年上p. 16, 18)</p> <p>○4年以上の「広がる算数」では、算数の学習と現実世界とをつなげる探究的な教材を掲載し、算数を実生活で活用できるよう工夫されている。</p>	<p>○単元末の漫画では、数学的な見方・考え方を振り返り、「学びのマップ」では、学習内容の系統性が確認できるようになっている。(5年p. 188, 300)</p> <p>○数学の用語を用いた定義づけにより、数学的な表現を理解し、活用する力を培うよう工夫されている。(3年上p. 16)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(算数) No. 3

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
K	<p>○各単元において、身近な題材や既習の内容から導入し、児童の思考の流れに沿ったステップの構成となっている。(3年上p. 96-101)</p> <p>○学習到達度に合わせて振り返りができるようにデジタルコンテンツは全ての学年を選ぶことができるようになってきている。</p>	<p>○めばえ・めあて・まとめの構成により、気付きからめあてをもって学習に向かい、まとめたことから次時の課題をもつというサイクルの学習となるよう工夫されている。</p> <p>○「面積」では、底辺と高さの関係を見つけれられるよう直角三角形から導入して、三角形や平行四辺形に移行していく構成となっている。(5年p. 135)</p>	<p>○二次元コードからアクセスできるデジタルコンテンツが多く、「よくあるまちがい」や発展的な内容まで、目的に応じてICTを利用できる。</p> <p>○表紙は立体的な楽しさを感じられるよう工夫されている。また、タブレットを活用して同じような位置を探すことで、よりよい学びへの興味が高まるようにしている。</p>	<p>○「算数の学しゅうのすすめ方」では、学び方のモデルが示されており、探究的な学びが進められるようになってきている。(2年上p. 4-7)</p> <p>○「見方・考え方を深めよう」では、数量の関係や問題の条件に着目して解決する文章題を扱い、思考力を育成するための工夫がされている。(2-6年)</p>	<p>○「未来へのとびら」では、算数で学んだ知識や考え方を深め、事に役立てている人の姿を知ること、子ども達自身の学びを未来へと広げるための工夫がされている。(6年p. 230)</p> <p>○仁摩サウンドミュージアム、雲州そろばん、出雲大社が掲載されており、島根に関連した教材となっている。(3年下p. 61, 98, 4年下p. 19)</p>	<p>○全ての主問題で、二次元コードから「解説動画」の視聴ができ、災害時などの休校時においても学びの保障ができるようになってきている。(1年p. 30)</p> <p>○夏休みの前に自由研究のコーナーを設け、見方・考え方を深める活動を例示し、探究活動の楽しさに触れられるよう工夫されている。</p>	<p>○めばえ・めあて・まとめの構成により、問題発見及び問題解決の過程のサイクルによる学習が進められるようになってきている。(6年p. 106)</p> <p>○二次元コードからアクセスできるデジタルコンテンツが豊富で、目的に応じたICT活用が促進されるようになってきている。(6年p. 143)</p>
L	<p>○数学的な見方・考え方が明記されており、見通しを立てたり筋道を立てて論理的に思考したりするための着眼点となっている。(3年上p. 128)</p> <p>○練習→わかっているかな→たしかめよう、といった段階がわかりやすい構成となっており、つまずきの発見や基礎的・基本的な内容の定着を図るようになってきている。(4年上p. 22-24)</p>	<p>○ペア対話のモデルをイラストと吹き出しで提示することで、ペア対話を促そうという工夫がされている。(4年下p. 48)</p> <p>○「ひょうとグラフ」の単元では、1年生へのプレゼントを題材とすることで、2年生に進級した児童の必要感にせまる工夫がされている。(2年上p. 12)</p>	<p>○「次の学習のためのコーナー」では、二次元コードからヒントと答えにアクセスすることができ、家庭学習でも前学年までの内容を復習できる工夫がされている。</p> <p>○テーマごとにまとめられた話題から、興味・関心に応じて課題を選択して学習が進められるようになってきている。</p>	<p>○「自分でみんなで」では、数、式、図などさまざまな表現方法を用いた説明を学ぶことができる。(2年下p. 47-49)</p> <p>○子どもがつまずきやすい内容について「まちがいやすい問題」として掲載し、全国学力調査において正答率が低い問題を重点的に取り扱っている。(5年p. 239)</p>	<p>○「使ってみよう」では、学習したことを生々の場面に生かし、算数の楽しさや意義を実感できるよう工夫されている。</p> <p>○「算数ジャンプ」では、他教科(家庭科「一汁三菜の献立を考えよう」)や日常生活(水の節約)とも結び付けた総合的な算数の問題を取りあげる工夫がされている。(6年p. 142, 196)</p>	<p>○5、6年の教科書には教科担任制を想定し、学びの現在地を示すスピン(しおりひも)をつける工夫がされている。</p> <p>○1年「かずやかたちでたのしく」では、幼児期の活動と算数のつながりが絵本仕立てで描かれている。学習への期待と安心感を抱けるようになってきている。(1年①p. 1-13)</p>	<p>○各単元及び巻末の構成が学習の到達度を把握しやすいものとなっており、基礎的・基本的な内容の定着を図るようになってきている。(6年p. 251)</p> <p>○「算数ジャンプ」では、他教科(家庭科「一汁三菜の献立を考えよう」)や日常生活(水の節約)とも結び付けた総合的な算数の問題を取りあげる工夫がされている。(6年p. 142, 196)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(理科) No. 1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
A	<p>○内容が精選され重量と1ページの情報量の両面において児童への負担を軽減するよう配慮している。(3年p. 177, 4年p. 201, 5年p. 169, 6年p. 201)</p> <p>○どの学年も「理科の学び方」のページがあり、問題解決学習の流れを、分かりやすいように示す工夫がされている。(各学年p. 4, p. 5)</p>	<p>○「水のゆくえ」で自然界の水のゆくえを学習し、「水のあたたまり方」「水のすがたと温度」を学習する流れが、児童の思考に合っている。(4年p. 92, 142, 158)</p> <p>○「植物のからだづくり」では、ポットに植えられたハウセンカの根を傷つけない観察の仕方を、二次元コードで確認できるよう工夫されている。(3年p. 39)</p>	<p>○「動物のからだのはたらき」では臓器ごとの図が詳しく配置され、それに関連した実験や仕組みの説明が見開きに掲載してある。(6年p. 31, 33, 39)</p> <p>○「電気と私たちのくらし」では、MESHを用いたプログラミング学習が記載されており、電気の効率的な利用を考える内容となっている。(6年p. 149)</p>	<p>○プログラミングの間分けのアルゴリズムを磁石につくものと電気を通すものまとめに活用しプログラミングの思考を使っている。(3年p. 147)</p> <p>○「流れる水のはたらき」では、島根県の斐伊川の写真を含め、全国各地の河原の様子を掲載し、特徴を整理する学習の仕方が示されている。(5年p. 76)</p>	<p>○各単元末の「理科の世界たんけん部」では、単元で学習した科学的事象に合わせて生活に身近な事象の解説があり、生活と理科を結びつける工夫がされている。(3年p. 117)</p> <p>○「電流のはたらき」では、電気自動車について1ページ紹介しており、今後さらに普及していくことを伝える内容となっている。(4年p. 49)</p>	<p>○実験によって、結果が記録しやすいよう、教科書に記入できるようになっている。(4年p. 41, 5年p. 130)</p> <p>○二次元コードを利用した学び方の紹介をしたページがある。また、指導者や保護者への注意喚起をする内容も記載されている。(5年p. 5)</p>	<p>○写真が見やすく、特に「変わり続ける大地」では特徴的な地層や地震の前後のちがいが分かる写真が大きく豊富である。(6年p. 108, 110, 113, 118)</p> <p>○デジタルコンテンツには、実験の方法、話合いの例など掲載し、繰り返し視聴することで、学習に向かいやすいよう工夫されている。(6年p. 201)</p>
B	<p>○各学年巻末の「理科の学びに役立てよう」の中に15～24ページの分量をとって記録の整理の仕方や実験機器の使い方、学年のまとめ、次年度で学ぶことなどがまとめられている。(6年p. 208)</p> <p>○どの学年にも理科の学び方のページがあり、問題解決学習の流れが分かりやすいよう工夫されている。(各学年p. 2, 3)</p>	<p>○「わたしたちの体と運動」では、簡単な模型を作ることで、腕が動く仕組みや構造を児童が理解しやすいよう工夫されている。(4年p. 117)</p> <p>○「流れる水のはたらきと土地の変化」では、平常時と増水時の川の様子が見開き2ページで比較しやすいように工夫されている。(5年p. 80)</p>	<p>○「電池のはたらき」では、直列、並列つなぎをスイッチで切り替える回路が紹介され、より深い学びになるよう工夫されている。(4年p. 37)</p> <p>○「人やほかの動物の体のつくりとはたらき」では、「中学校で科学ぶこと」などの発展的な内容にも触れられ、興味・関心が高まるよう工夫されている。(6年p. 50)</p>	<p>○特徴的な地層の参考例として、山口県萩市のホルンフェルスが掲載され、身近な地域の地層を紹介することで児童への興味・関心を促している。(6年p. 232)</p> <p>○「しりょうりかのたまてばこ」では、科学館や博物館へ行ってみるよう促す記載があり、学習をさらに発展させることができるよう配慮されている。(3年p. 48)</p>	<p>○「じしゃくのふしぎ」では、小学6年生児童の発明をとりあげ、身近な生活に役立つものを作るという児童の興味・関心を引き出している。(3年p. 172)</p> <p>○「ものの燃え方」の「りかのたまてばこ」では、豊かな生活を支える燃料について触れ、公害や環境保全などについて考えられるよう示している。(6年p. 18)</p>	<p>○「人のたんじょう」では、胎児や子宮の様子についての産婦人科医師の説明がウェブサイトで視聴できる。(5年p. 162)</p> <p>○問題発見や考察の場面では、理科の見方につながる着目点を示し、児童自身で問題を見いだせるようにしている。(5年p. 115)</p>	<p>○身近な材料を用いた実験が紹介され、児童が事象に気づきやすい工夫がされていたり、新しい実験機器、用具が紹介されていたりする。(3年p. 81)</p> <p>○どのページも見やすい配置や色使いになるよう工夫されている。また、デジタルコンテンツが豊富で、個別最適な学びがしやすいよう工夫されている。(3年p. 67)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(理科) No. 2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
D	<p>○単元冒頭では「できるようにになりたい」資質・能力を掲載し、単元末では、学習を通して「できるようになった」資質・能力の振り返りができよう配慮されている。(4年p. 7, 15)</p> <p>○各学年とも学年別の働かせたい考え方、「比べる」「関係づける」「条件をそろえる」「いろいろな方向から考える」が、明示されている。(各学年p. 4, 5)</p>	<p>○「人の体のつくりと運動」では、自分の腕や手の曲がるところを触りながら記録することで、児童の思考を深める工夫がされている。(4年p. 179)</p> <p>○「人や動物の体」の「もっとしりたい」では、人間の他に、呼吸をする動物をイラストや動画付きで紹介し、学びに広がりをもたせるような構成になっている。(6年p. 36)</p>	<p>○「流れる水のはたらき」では、インターネットでの調べ方も掲載されているため、自分たちの地域の川の流れる様子を調べることができるよう工夫されている。(5年p. 99-100)</p> <p>○「食物を通した生物どうしの関わり」では、食物連鎖の図の中に、ヒトも描かれており、自分たちもその一端であることが示されている。(6年p. 68)</p>	<p>○実験器具の使い方のページでは、一連の作業を細かく分け、確認できるようにしたり、二次元コードを読み取ることで動画を視聴できるようにしたりする工夫がされている。(5年p. 186-187)</p> <p>○「火山の噴火と地震」では、砂岩と泥岩の地層に、出雲市の写真が掲載されており、児童が身近に感じられる題材となっている。(6年p. 153)</p>	<p>○全学年の巻末の「考えよう調べよう」にて、図書館の活用の仕方が掲載され、思考をさらに深めるよう配慮されている。(3年p. 174, 4年p. 193, 5年p. 180, 6年p. 220)</p> <p>○各単元末にある「もっとしりたい」では、水中で音を聞く際の水中スピーカーについてとりあげるなど、生活との関連に興味をわくよう工夫されている。(3年p. 94)</p>	<p>○6年「火山の噴火と地震」では、児童が日頃から自らの地域や防災について考えることができるよう配慮されている。(6年p. 148-150)</p> <p>○各学年の裏表紙には、SDGsの17の目標が掲載されており、単元に当てはまる項目が分かりやすく示されている。</p>	<p>○表紙見返しには、科学者の言葉、「科学者を知ろう」では、科学者の功績を掲載することで、学びへの意識、興味がわく構成になっている。(3年表紙見返し, p. 167)</p> <p>○どの学年も、単元末の「もっとしりたい」に、身近に感じられる事象や探究したくなる事柄が紹介されており、深い学びに繋がるよう工夫されている。(5年p. 76-77)</p>
F	<p>○初めて理科を学ぶ3年生には、生活科と理科の違いが漫画で説明され、理科の学習への意識付けがされている。(3年p. 2)</p> <p>○3年「見つけよう」、4年「予想しよう・計画しよう」、5年「計画しよう」、6年「結果から考えよう」と、学年別で問題解決場面において育てたい力を明示している。(4年p. 46)</p>	<p>○単元導入で「学習前の○○さん」単元末の「学習後の○○さん」を掲載することで、学習前後の成長が実感でき、次の学びに向かう力になるよう配慮されている。(5年p. 61, 72)</p> <p>○「ものの温度と体積」では、水、空気、金属の体積の変化を調べるために、条件(60℃の湯)を同じにすることで児童の思考の流れに沿った展開となっている。(4年p. 128-141)</p>	<p>○「人や他の動物の体」では、実際の内臓の大きさが見開きで表され、体に当ててイメージしやすいようになっている。(6年p. 42-45)</p> <p>○「こん虫の世界」では、昆虫について調べる際に、図書館で図鑑を使って調べるだけでなく、「Webずかん」でも調べられるよう、二次元コードが掲載されている。(3年p. 78)</p>	<p>○「季節と生き物」では、昆虫や鳥の観察について、どのように記録すればよいか明確に示し、通年で活動できるように工夫されている。(4年p. 15)</p> <p>○「電気の利用」では、学びを広げるために、プログラミングについて詳細に紹介され、複数のプログラミングの活動が体験できるように工夫されている。(6年p. 187-191)</p>	<p>○「科学のまど」が単元末に設定され生活と学習内容のつながりを意識させている。高学年ではSDGsの目標に対応している内容を記号で明示している。(6年p. 202-209)</p> <p>○全学年の巻頭に「自分たちの考えを伝え合い、学び合おう」を掲載し、国語科で学んだ力を活用できるような表現の仕方を紹介している。(全学年p. 5)</p>	<p>○各学年で初めて使う実験用機器の使い方が巻末にまとめられ、安全かつ正確に実験ができるように配慮されている。(6年p. 211-214)</p> <p>○「水溶液」では、リトマス紙の変化に色名や境界線を表示し、色覚多様性への配慮がなされている。(6年p. 158)</p>	<p>○前学年の学びを「○年で学んだこと」にまとめられており、課題解決の流れがわかるように実験、観察、資料調べなど何をするのが明確にされている。(4年p. 2, 3)</p> <p>○全学年の巻頭には、国語科、巻末には算数科との関連が明示されており、他教科で学んだことを活用できる構成となっている。(3年p. 5, 185)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(理科) No. 3

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
H	<p>○単元の導入で、既習事項「思い出そう」と大きく示した写真を関連付けながら、児童が問題を見だし、学習に取り組む工夫がなされている。(5年p. 50)</p> <p>○実験や観察の様子を実際に児童が書いたような書体やスケッチが用いられており、児童がワークシートを書くときに、イメージをもちやすい配慮がなされている。(3年p. 51)</p>	<p>○身近な植物を用いることで、葉のでんぷんを調べる際、児童が主体的に学べるよう配慮されている。(6年p. 46-49)</p> <p>○「日なたと日かげをくらべよう」の導入では、プール学習やこれまでの生活体験を想起させるような内容になっている。(3年p. 40)</p>	<p>○「種子の発芽」では、実験とは別に、もやし作りに挑戦することで、身近な事物・現象や多様な追究方法について、興味・関心をもって学習できるよう工夫されている。(5年p. 30)</p> <p>○「とじこめた空気と水のせいしつ」では、「しりょう」で、身近にあるであろうエアポットをとりあげ、興味・関心が高まるよう工夫されている。(4年p. 32)</p>	<p>○「生き物のくらし」では、見開きページで4か所の定点写真を掲載し、四季の変化を比較できるような紙面構成がとられている。(4年p. 10, 60, 96, 146)</p> <p>○「植物のからだとはたらき」では、根から水を取り入れているかどうか条件を変えて実験した様子が分かりやすく示されている。(6年p. 53)</p>	<p>○「種子の発芽」では、単元末に学習したことを生かし、身近にある砂糖などを用いて調べ、日常生活との関わりを深められる構成となっている。(5年p. 33)</p> <p>○「花がさいた後の植物をしらべよう」の「しりょう」では、トマトやナスといった身近な植物の花や実を写真で紹介し、興味・関心を高める工夫がされている。(3年p. 83)</p>	<p>○実験結果やまとめは、字の大きさやフォントを変え、児童に必要な情報が伝わるよう工夫されている。(6年p. 149-152)</p> <p>○「こん虫の体を調べよう」では、頭、胸、腹の割合が昆虫によって異なることが、分かりやすく示されている。(3年p. 73-74)</p>	<p>○各学年の目次に、その学年で行う観察や栽培の時期が記載されているため、見直しをもって取り組むことができる構成になっている。(3年p. 2-3)</p> <p>○児童が協力し合って実験をしたり観察したりする様子が分かる写真が多く使われており、どのように実験・観察を行ったらいいのか想起しやすいよう示してある。(6年p. 103)</p>
K	<p>○わくわく理科という教科書名にもあるように単元の最初に理科の楽しさが分かるような写真で興味を引き、探究意欲を高めようとしている。(6年p. 1)</p> <p>○単元導入では「はじめに考えよう」、単元末では「もう一度考えよう」と同じ問いを再考することで、単元の前後で学びの深まりを確認できるよう配慮されている。(5年p. 33-49)</p>	<p>○学びのサイクルを見つける、調べる、まとめるとして明示し、結果を次ページに配置することで、児童が主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。(6年p. 4)</p> <p>○「ふりこのきまり」では、意識的に理科の見方・考え方を働かせ、対話的な学びとなるよう、吹き出しの中に見方・考え方マーカーを引く工夫がされている。(5年p. 124-132)</p>	<p>○巻末にある「植物たんけんシート」、「こん虫たんけんシート」は、野外活動に携帯できるようにしており、生き物観察に興味をもてるよう工夫されている。(3年巻末)</p> <p>○「発電と電気の利用」では、実験をサポートする二次元コードがついており、児童が主体的に実験できるよう配慮されている。(6年p. 179)</p>	<p>○「大地のつくりと変化」では、山陰海岸の写真や隠岐のジオパークがとりあげられ、身近な地域の地層に興味をもてるようにしている。(6年p. 149)</p> <p>○「ヒトや動物の体」での実験では、容器を個別化したり、容器と綿棒の取扱いについて記載されたり、感染症対策への配慮がされている。(6年p. 29)</p>	<p>○各学年の巻末「資料室」に「算数のまど」が設定され、算数の技能を用いてデータ処理等をする手立てが示されている。(3年p. 180, 4年p. 194, 5年p. 186, 6年p. 210)</p> <p>○各単元末に「活用しよう」を設定し、学習したことを日常生活の事象と結びつけて思考できる工夫が取り入れられている。(4年p. 48)</p>	<p>○「発電と電気の利用」では、プログラミングのシミュレートを通して、エネルギー資源の有効利用について考えることができる。(6年p. 183)</p> <p>○「くらしとリンク」では、働く人へのインタビューで、理科の学びの視点からも配慮がされている。(3年p. 107)</p>	<p>○各学年の巻末「資料室」に「算数のまど」が設定され、算数との関連が丁寧にとりあげられており、実験の結果の集計がきちんとできるように配慮されている。(5年p. 186)</p> <p>○全学年、導入から計画、実験サポート、まとめまでICTを効果的に活用して学びが深まる構成となるよう工夫されている。(5年p. 123-134)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(生活) No. 1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
A	<p>○「保護者の皆様へ」としてスタートカリキュラムの意義や内容についての説明がある。また、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の主な例が示されている。(上p. 1-13)</p> <p>○「やくそく」という場面が右上に例示しており、生活の中で、具体的に考えることができるよう工夫されている。(上p. 65)</p>	<p>○探検計画書やまちたんけんマップなどの書き方の例が掲載され、見通しをもって学習に取り組むための工夫がされている。(下p. 25, 29)</p> <p>○植物の育ちや校庭や町の様子を季節で比較しながら繰り返し紹介することで、気付きの質を高め、学習を深めることができるように構成されている。(上p. 32)</p>	<p>○「いきものずかん」や「あきのおもちやずかん」「クイズ」など、児童の興味・関心にあわせて、自ら調べることができる工夫がされている。(上p. 52, 58-59, 76-77)</p> <p>○上巻も下巻もダイナミックな活動写真が取り入れてあり、子どもの興味・関心を引き出し、活動意欲を高める工夫がされている。(上p. 44-45)</p>	<p>○「学びをふかめる」コーナーでは、試行錯誤の大切さや疑問に思ったことを尋ねに行く場面を掲載してあり、学びを深めることができる工夫がみられる。(下p. 50, 75)</p> <p>○校外学習の場面では、幼児、高齢者、外国人など様々な他者と協働して一緒に思いや願いを実現する活動が掲載されている。(上p. 42)</p>	<p>○上下巻とも最後に「かつどうべんりてちょう」が掲載されており、観察の仕方や道具の使い方など繰り返し見返し、参考にすることができる。(上p. 113, 下p. 103)</p> <p>○国語や算数で学習したことを生かす場面が示しており、他教科とのつながりを意識することができるよう工夫されている。(下p. 15, 51)</p>	<p>○板書例や活動例が示され、教員向けに授業づくりのヒントが掲載されている。また、随所に二次元コードが掲載されデジタルコンテンツが活用できる。(上p. 85, 下p. 82)</p> <p>○育成を目指す資質・能力を端的な表現とマークで明示し、教師が指導と評価の一体化を意識できるように配慮されている。(下p. 10)</p>	<p>○大判の教科書で、写真やイラスト、文字が分かりやすくなっている。文章は短く端的に書いてある。(上p. 52-53)</p> <p>○低学年の発達の段階を考慮し、児童が学んだことを表現する場面で、多様な表現方法が掲載され、二年間で徐々に活動の質が高まるよう配慮されている。(上p. 21, 49, 下p. 98)</p>
B	<p>○「きもちマーク」に記入することにより、子ども自身が心の動きを表現することができる。満足感、成就感、自信ややりがいを感じることができるように工夫されている。(上p. 3, 17)</p> <p>○二次元コードで、昆虫の動画や遊び方の例などが多く示されており、必要に応じて情報を得られるようになっている。(下p. 34)</p>	<p>○人との関わりを中心に春と秋の町たんけんが繋がるような単元構成になっている。さらに、相手意識をもたせ、表現活動に意欲的に取り組むことができるようにしている。(下p. 58-79)</p> <p>○見開きごとに、児童が見通しをもって活動に取り組むことができるよう具体例が示されている。(下p. 96)</p>	<p>○「春見つけビンゴカード」は、教科書から切り取って活用でき、児童が興味をもって春見つけを行うことができるようにしている。(下p. 16-17)</p> <p>○モノクロ写真を使用し、想像する楽しさ、実際の色を見て知る楽しさを実感することをとおして意欲的に活動できるように工夫されている。(上p. 82-83, 下p. 22-23)</p>	<p>○日本各地の凧やおやつを紹介することで、自分たちが住んでる地域の文化について、興味・関心をもつことができるように工夫されている。(上p. 77, 107)</p> <p>○観察カード等短い文章から、手紙や振り返りカード等長い文章を示すことで、二年間を通して、質や量が高まる工夫がされている。(上p. 37, 下p. 111)</p>	<p>○「がくしゅうどうぐばこ」、「Webがくしゅうどうぐばこ」を掲載し、学び方や多くの資料を紹介することができる。(上p. 130, 下p. 114)</p> <p>○SDGsの目標をとりあげ等、自分たちにもできることがあることに気付かせ、考えるきっかけをつくる工夫をしている。(下p. 48-51)</p>	<p>○低学年なりの探究のプロセスが分かりやすく表現され、活動の見通しをもつことができるように工夫されている。(上p. 10-11, 下p. 2-3)</p> <p>○「きらきらことば」や「せいかつことば」が掲載してあると同時に、言語活動例も示され、発達の段階に合わせた語彙の獲得に配慮されている。(上p. 7)</p>	<p>○教科書に直接書き込めるように「～したいな」「気持ちマーク」などのコーナーを設けて工夫し、児童の思いを表現しやすくしている。(上p. 3, 34)</p> <p>○実生活で活用できるよう語彙を増やす工夫がされている。また、手紙や振り返りカードなどの様々な表現活動に生かす工夫がされている。(上p. 123, 下p. 43)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(生活) No. 2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
D	<p>○目次に月が示されていて、何月にどんな学習をするのか見通しをもつことができるよう工夫されている。(上下巻頭)</p> <p>○家の仕事に挑戦しようでは、教えてもらったことをクラスの友達に伝え、さらに一人で頑張り気づいたことをお手紙にするという一連の流れが分かりやすく記載されている。(上p. 96-100)</p>	<p>○「ものしりのうと」や「ものしりずかん」では、あさがおの様子などが分かりやすく掲載されている。また、二次元コードから具体的な資料がみられるよう工夫されている。(上p. 40, 68)</p> <p>○「まちたんけん」の単元がまとめて掲載されていて、見通しをもって活動を計画することができる。(下p. 4-35)</p>	<p>○たくさんできた種や咲き終わった後のツルをどうするのか、児童の思考に合わせた表現方法が掲載されている。(上p. 44-45)</p> <p>○「生きものと友だち」の単元では、イラストの中にある生き物の名前をクイズ形式で学ぶ仕掛けがあり、興味・関心をもって学習に取り組めるよう工夫してある。(下p. 76-77)</p>	<p>○手作りおもちゃで遊ぶ活動では、人と関わる場面を大切にしたり、具体的な例が写真などで示され、協働的な学習につながるよう工夫されている。(下p. 92-95)</p> <p>○季節の様子を感じるとともに、地域の伝統文化にふれ、自分たちのふるさとのよさに気付くことができるよう配慮されている。(下p. 2-3)</p>	<p>○ダンゴムシの飼育・観察の活動と体育を関連させたり、たねをとる活動と算数を関連させたりする工夫がみられる。(上p. 43, 下p. 69)</p> <p>○「もっと～したいな」のコーナーでは、専門家の話などを掲載し、学習したことを生かしながら、さらに発展的な学習に取り組めるよう工夫してある。(下p. 74-75)</p>	<p>○「作ってあそぼううごくりサイクルおもちゃ」の単元では、廃材を利用して作ることができるおもちゃが紹介されている。(下p. 80-84)</p> <p>○ページ見開きをひとつの活動単位とし、願いをもち→主体的・対話的に活動→伝え合い、振り返る学びのつながりがわかるような工夫がされている。(上下巻)</p>	<p>○「学び方図かん」では、学ぶ力をつけるための「わざ」として、多くの例が紹介されており、実際の場面で活用できるよう工夫されている。(上p. 125, 下p. 113)</p> <p>○上巻、下巻を通して、児童と一緒に成長していくキャラクターを活用し、友達や周りに関わり合いながら変容し、成長していく姿を明確にしている。(上下巻)</p>
F	<p>○「はじめのいっば」では、幼児期の様子をイラストで掲載し、これまでの経験を児童が想起できるとともに教師が幼児期からの学びの連続性を確認できる工夫がされている。(上p. 4-9)</p> <p>○単元の最後に自分の考えやもっと知りたいことなどを書き込むページがあり、教科書に自分の思いを記録することができる。(下p. 46)</p>	<p>○各単元の始めのページに、全ての単元が書かれており、今どの単元を学習しているのかが分かる工夫がされている。(上p. 24)</p> <p>○見つける、比べる、たとえば、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を「ひんと」で示し、意欲的な活動につながるような工夫をしている。(上p. 27)</p>	<p>○二次元コードを読み取ることで「でじたるずかん」を見ることができるようになっており、児童が調べたいことを自分で調べる力を育むことにつながる。(上p. 50-51)</p> <p>○クイズを取り入れて、児童が興味・関心をもって、楽しんで学習に取り組めるように工夫されている。(下p. 18-19)</p>	<p>○「かぞくにこにこ大さくせん」では、様々な家族形態が紹介されており、家族の多様化について配慮されている。(上p. 82)</p> <p>○「のはらのカレンダー」では、季節ごとの植物や生き物を見開きで確認できるよう工夫されている。(上p. 106-107)</p>	<p>○上巻、下巻共に、巻末に「学びのポケット」を掲載し、教科のアイコンをつけて関連付けながら、生活科で身に付けたい知識や技能の習得を促す配慮をしている。(上p. 117, 下p. 109)</p> <p>○「はってん」コラムで、他教科や中学年以降の理科や社会科との接続を図る工夫がみられる。(下p. 9, 31)</p>	<p>○各単元のとびらに「わくわくスイッチ」を設けて、思いや願いを大切に学習に向かうための工夫をしている。(上p. 11, 下p. 5)</p> <p>○上巻、下巻共に、児童の活動を広げることができるような教師の吹き出しの言葉があり、児童の成長していく姿が表れている。(上p. 11, 下p. 5)</p>	<p>○6つの力「きづく～じしんをもつ」がさいころに記載されている。特に、最後の「つたえる」「じしんをもつ」では、児童が学びを振り返る工夫がされている。(下p. 14-15)</p> <p>○「ぐんぐんはしご」などで自己評価をし、単元や学期ごとにまとめ、振り返ることで、児童の意欲をより高める工夫がされている。(上p. 91-92)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(生活) No. 3

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
H	<p>○栽培の単元では、鉢選びや土づくりから始まる活動例が示しており、児童が主体的に活動する姿が想定されている。(上p. 38-39)</p> <p>○入学期の児童の発達の特徴を考慮し、遊びをはじめ、具体的な活動や体験を中核にしなが、総合的に展開できるように配慮している。(上p. 7-10)</p>	<p>○ヤギや大豆など、地域に関わりの深い動物や植物との継続的な関わりを通して、それらにかかわる様々な体験を重視している。(下p. 28-29)</p> <p>○季節ごとに「いつもの場所」が見開きで掲載されており、季節による動植物の変化や生活の様子などを捉えられるよう工夫されている。(上p. 26-31)</p>	<p>○各単元の扉ページいっばいに、単元を象徴する写真や挿絵を掲載して、活動への触発と期待感を高める工夫がされている。(上p. 68-69)</p> <p>○学校探検のページでは、それぞれの場所の名前を書かないで、自分で調べたり、見つけたりしたくなる工夫がされている。(上p. 16)</p>	<p>○「わたしたちがすむ町」の単元では、公民館での様子を取りあげ、自分と地域の方とのふれあいを感じさせることができるよう工夫されている。(下p. 20)</p> <p>○日本の伝統文化を挿絵を用いて紹介することで、季節や行事の特徴をより感じることができるよう工夫されている。(下p. 80-81)</p>	<p>○「きせつのぎょうじ」のページがあり、その季節の行事を感じることができる。また、関係のある歌も記載されており、音楽との関連が図られている。(上p. 34)</p> <p>○地域の材料を生かしながら活動することで、身近な自然を意識することができるよう配慮されている。(下p. 12-13)</p>	<p>○上巻から下巻と二年間を通して、動物との継続的な関わりを大切にしながら、命の大切さを考える工夫がされている。(上p. 44, 74, 下p. 28, 44)</p> <p>○活動内容や季節に応じた健康で安全な生活を送るための注意喚起を児童にわかりやすく随所に示している。(上p. 57)</p> <p>○縦書きで表記されている。</p>	<p>○児童の思いが作文や詩で掲載されており、豊かな表現にふれることができ、児童の実態に応じて学びを深めることができる配慮がなされている。(下p. 32-33)</p> <p>○児童の生活に寄り添った時系列による構成になっている。一つ一つの単元が繋がっているように配慮されている。(下p. 60-61)</p>
I	<p>○幼児期からの円滑な接続を図るために、お話作りからスタートする内容となっている。また、幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿を掲載し、家庭との連携に活用することができるようになってきている。(上p. 16-17)</p> <p>○単元の終わりに「もっとやってみよう」のコーナーがあり、児童が学習したことをもとに学びを深める工夫がされている。(上p. 29)</p>	<p>○ページの右下に「ふりかえろう」のコーナーがあり、その活動で身につけたい資質・能力が示されている。(上p. 22-23)</p> <p>○単元扉のページは、児童の豊かな表情が大きく写真で掲載されており、児童が思いや願いをもつことができるよう工夫されている。(上p. 30-31, 下p. 6-7)</p>	<p>○「こんなこともあるかもね」では、多様な考えがイラストで示されており、児童が互いの考えを許容しあい、笑顔になれる内容となっている。(上p. 37)</p> <p>○ICTの活用の仕方を紹介しながら、興味・関心をもって活動に意欲に関わることができるよう工夫されている。(上p. 35, 下p. 91)</p>	<p>○各単元の最後に振り返る場面を設け、今の気持ちを書いたり、手紙を書いたりする活動を取り入れ、自分の気持ちを書き表す力を高める工夫がされている。(上p. 74)</p> <p>○「はなやくさであそぼう」の活動の場面には、「どうすればもっとうまくできるだろう」として考え方のヒントを提示している。(上p. 46)</p>	<p>○単元の終末には、「楽しい毎日につなげよう」として、学んだことを生活に生かそうとする意識をもたせる工夫がされている。(下p. 43)</p> <p>○「ひろがるせいかつじてん」には、単元に即した内容のみならず、汎用的な資料も掲載されており、日常に広く活用することができる。(上下巻末)</p>	<p>○取り外し可能な「ひろがるせいかつじてん」「きせつのなかまたち」がついており、汚れにくく、野外での活動に適した工夫がされている。(上巻末)</p> <p>○ヨシタケシンスケ氏の絵と言葉から、児童の興味・関心をかき立てるよう工夫されている。</p>	<p>○児童の活動例として掲載されている写真では、対話をしている場面が多く、対話を通して気付きを深めることを促す工夫がされている。(下p. 31)</p> <p>○小單元ごとに学習展開が一目でわかる構成になっていて、児童が意欲をもって、学びを深め、振り返り、次へ繋がる学びの工夫がされている。(上p. 22-23)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(生活) No. 4

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
K	<p>○「がっこうだいすき いちねんせい」では、幼児期の生活を思い出しながら、安心して小学校生活を送ることができるよう工夫されている。(上巻巻頭)</p> <p>○「あきあそびをたのしもう」では、場づくりやどんなおもちゃを作っているかについて、児童が取り組みやすいよう見開きで示されている。(上p76-77)</p>	<p>○ページの端には「もっとなかよくなりたいな」などの言葉が書いてあり、児童の気付きや思いが次の活動につながるよう工夫されている。(上p.57)</p> <p>○「できるかな できたかな？」では育てた資質・能力の3つの柱が整理してあり、指導や評価の手がかりとなるよう構成されている。(上p.13)</p>	<p>○豊かな表現力や、基礎的な知識・技能を身につけるため、「びっくりずかん」「がくしゅうずかん」「デジタルたんけんブック」の3つの図鑑を掲載している。</p> <p>○表紙や单元ごとに、二次元コードが掲載され、クイズや動画を見ることができ、児童が自分で必要な情報を得ることができるよう工夫されている。(下p.72-73)</p>	<p>○家庭でも生活科の学習に取り組めるようなワークシートが紹介されており、児童が主体的に学ぶことができる工夫がされている。(上p.48)</p> <p>○命の大切さを感じることができる挿絵を掲載し、自分の身の回りには、たくさんの命があることに気付くことができるよう配慮されている。(上p.62-63, 下p.26-27)</p>	<p>○作文を書いたり、身体表現をしたりして、他教科との連携を図ることで、指導の効果が高まる工夫がされている。(上p.60)</p> <p>○生き物の育て方について、外来種を飼う時に気をつける事をSDGsも関連させて記載し、自然環境や生態系保全に気づかせる工夫がされている。(下p.57)</p>	<p>○一年間の振り返りが写真を使ったすごろくで掲載されており、自分のこととして振り返りやすい。(上p.110-111)</p> <p>○下巻の巻末の「ステップブック」では、幼児期や生活科で培った資質・能力を自覚するとともに、3年生への期待感を高め、自信と期待をもって進級することができるよう工夫されている。</p>	<p>○板書事項や机の配置などが挿絵によって示されており、授業者が授業のイメージをつかめるように配慮されている。(上p.112-113)</p> <p>○学びの連続性を大切にし、単元の導入、主な活動、振り返りを「わくわく、いきいき、ぐんぐん」という児童に分かりやすい言葉の3段構成で示している。(上p.4-13)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(音楽) No. 1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
F	<p>○「スキルアップ」や「めざせ楽き名人」では、常時活動で継続的に即興的な表現や楽器の演奏技能を身に付けられるよう工夫されている。(2年p. 6-7, 28-29)</p> <p>○諸外国に伝わる音楽、様々なジャンルの楽曲から教材が選択されており、児童が楽しんで学習に取り組むことができるよう工夫されている。</p>	<p>○見開き毎に、左に題材名とめあて、右上に音楽を形づくっている要素が「音楽のもと」という言葉で示され、児童が学びのポイントを意識して活動できるよう工夫されている。(2年p. 8-9)</p> <p>○「学習マップ」や「学びナビ」により、見通しをもって主体的に学んだり、学びを深めたりできるよう配慮されている。(4年p. 4)</p>	<p>○「まなびナビ」に、思考力、判断力、表現力の育成につながる発問例が掲載されており、児童の気づきや思いを引き出す工夫がなされている。(3年p. 40-43)</p> <p>○「まなびリンク」では、演奏と楽譜が連動した動画や作者のメッセージを視聴することができ、児童の興味・関心を高めるよう工夫されている。(3年p. 34-35)</p>	<p>○巻末では、学年に合わせた編成で「音楽のおくりもの」と「さんぽ」が全学年に掲載され、一体感や楽しさを味わえる工夫がなされている。(1年p. 67, 6年p. 71)</p> <p>○巻末に「音楽を表すいろいろな言葉」が掲載され、児童が知覚・感受したことをメモで増やすなど言語化、活用のための工夫がなされている。(5年p. 80)</p>	<p>○「ショートタイムラーニング」では、歌を通して算数や外国語に親しむ活動が設けられ、教科横断的な学習ができるよう工夫されている。(3年p. 73)</p> <p>○わらべうたや季節のうたを多数掲載し、日本文化を大切にし、生活の中で音楽を楽しむことができるよう工夫されている。(1年p. 14-15, 巻末)</p>	<p>○「『音楽のもと』まめ」とや学習内容が図やイラストで示され、視覚的に理解するための工夫がされている。(4年p. 78)</p> <p>○リコーダー運指表が、折り込まれている。また、実寸に近い鍵盤ハーモニカの写実が掲載されており、児童が個別最適かつ着実に技能を習得できるよう配慮されている。(1年p. 34-39, 4年p. 81)</p>	<p>○歌詞の内容に合わせた美しい写真が、大きな紙面で掲載されている。児童が情景をイメージし、感動をもって学習しやすい工夫がされている。(5年p. 10-11)</p> <p>○音楽づくりの内容が充実している。また、「もっとあそぼう」では音楽を発展させる例が示され、児童が創造性を発揮できるよう工夫されている。(6年p. 36-37)</p>
G	<p>○「そだてよう」では、常時活動の例が示され、様々な音楽活動につながる力を育てるよう工夫されている。(1年p. 14-15, 40)</p> <p>○題材のねらいに沿って歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の教材がバランスよく配置され、児童の実態に合わせて活用できるよう配慮されている。(3年p. 52-59)</p>	<p>○「見つける」「かんがえる」「うたう」活動とともに振り返りの視点が示され、見通しをもって学習ができる配慮がなされている。(2年p. 10-11)</p> <p>○歌唱領域について、児童の発達の段階に合わせ、交互唱、輪唱から二部合唱へといった段階を踏んだ学習構成がなされている。(1年p. 47, 2年p. 25, 4年p. 38-46)</p>	<p>○二次元コードにより、音楽づくりを試行錯誤して進めたり、他サイトの資料を読んだりすることができ、個別最適で深い学びとなるよう工夫されている。(6年p. 15, 30-31)</p> <p>○子どもとナビゲーターの親しみやすいキャラクターが登場し、児童が音楽の喜びや楽しさを感じ取るようなデザインが工夫がなされている。</p>	<p>○地域の文化や芸能について、子ども達が「石見神楽」に取り組む様子が掲載されており、児童が地域の文化や芸能に興味・関心をもち、身近に感じる工夫がなされている。(4年裏表紙)</p> <p>○巻末には、歌唱曲、合奏曲、鑑賞資料が掲載されており、実態に合わせて活用できるよう配慮されている。(2年p. 72-77)</p>	<p>○身のまわりの音や鳴き声をつかってあそぶ活動を通して、音そのものへの興味・関心を高める工夫がなされている。(1年p. 32-33, 2年28-29)</p> <p>○音や音楽に関わるコラムなどを設け、音楽に関わる権利「著作権」について学習し、自分の日々の生活に生かすことができるよう配慮されている。(6年p. 24-25)</p>	<p>○現在活躍している音楽家の、小学生時代のエピソードや児童へのメッセージが掲載されている。音楽家を身近に感じ、自らの音楽活動に生かすための工夫がなされている。(3年-6年口絵)</p> <p>○「君が代」では、国歌を大切にすることや他国の国歌を尊重する観点でのコラムがあるよう配慮されている。(5年p. 86-87)</p>	<p>○音楽を形づくっている要素を中心として、歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の学習が関連しあえる題材構成がなされ、学びのつながりや積み重ねの配慮がなされている。(4年p. 30-37)</p> <p>○学習活動のヒントやポイントを、キャラクターが示し、児童の主体的、対話的な学びを促す工夫がなされている。(5年p. 30-33)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(図画工作) No. 1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
C	<p>○目次の横にその活動が写真と共に掲載され、児童が題材のイメージをもちやすい工夫がなされている。(全学年)</p> <p>○掲載されている作品に番号が振ってあり、どの作品を見たらよいか、示しやすいよう工夫されている。(全学年)</p>	<p>○使った材料が次の活動で生かせる題材配列になっており、材料を多面的・多角的に捉え、有効活用できるよう構成されている。(1・2上p. 16-19)</p> <p>○巻末の「タブレットたんまつを使おう」では全学年を通して、主な使用方法を挙げて、具体的な活動と結びつけながら解説している。(1・2上p. 63)</p>	<p>○二次元コードからワークシート等を利用することで、書きながら思考を整理することや、学習評価に活用できる。(5・6下p. 10)</p> <p>○地域や生活の中のデザインなど、図工の発展的な活用が紹介されており、授業で学んだことが身近に感じられるような内容になっている。(5・6上p. 36-37, 5・6下p. 48-49)</p>	<p>○出雲市の「一式かざり」が掲載され島根県の伝統文化に着目できる。(5・6上p. 57)</p> <p>○学習が身近なSDGsを意識して設定されており、活動や材料などの有効活用につながっている。(5・6上p. 34-35)</p>	<p>○各教科書巻頭や「未来へつながる図画工作」には生活と図画工作での学びのつながりが職業を通じて分かりやすく示されている。(5・6下p. 66-69)</p> <p>○他教科での知識が作品制作により発展的な活動として深まるような題材がある。(3・4上p. 36-37, 3・4下p. 52-53)</p>	<p>○工作の動き方について、紙面で端的に示すとともに、より具体的にイメージがもてるよう動画でも示されている。(1・2下p. 36-37)</p> <p>○写真や文字が大きく、どんな活動を行えばよいか見通しがもちやすい。(3・4上p. 22, 5・6下p. 52-53)</p>	<p>○育成する資質・能力をキャラクターで表し、重点とするめあてを下線で強調するなど、児童も指導者にも授業のゴールを意識しやすい構成となっている。(1・2上p. 4-7)</p> <p>○制作の流れ等が二次元コードで児童が見たいときに自由に確認できたり、指導者が活用できるコンテンツの工夫があったりする。(3・4下p. 42-43)</p>
L	<p>○題材が見開きで構成され、左上に題材名と導入の言葉、学習のめあてがまとまりで示され、制作過程の様子から学習や児童の思考の流れがわかりやすく示されている。(全学年)</p> <p>○1・2年上には、幼保小のスムーズな接続を意識した、文字の量や図・写真の提示の工夫がなされている。</p>	<p>○インクルーシブ教育の視点を踏まえ、「感じて考えて」のように、多様な材料や用具に触れ、五感を通して味わい、イメージを広げる題材が掲載されている。(5・6下p. 52-53)</p> <p>○「使って楽しい焼き物」では、土を焼成して表す経験ができるよう題材が提示されている。(5・6下p. 28-29)</p>	<p>○題材ごとに二次元コードにより、全国の児童の作品例、つばやきや工夫、360°から鑑賞できる作品が掲載されている。</p> <p>○「図画工作をもっと楽しむためのページ」には、題材や活動と関連した資料が充実し、新たな見方や考え方が広がる手立てにつながっている。(3・4上p. 24-29)</p>	<p>○県内美術館の作品や、自然の色として浜田市、隠岐の島町の土が掲載され、美術館への興味や郷土への関心につなげることができ。(3・4上p. 24)</p> <p>○安全面での配慮だけでなく、授業実施上必要となるマナー等の記載がある。(1・2下p. 25, 3・4上p. 63)</p>	<p>○各教科とのかかわりがページ右下に「つながる学び」として掲載されている。</p> <p>○新たな発想を広げる手立てとして、思考を整理し表現につなげる思考ツールやICTを用いた方法が提示されている。(5・6上p. 32-33, 54-55, 5・6下p. 26-27)</p>	<p>○家庭と連携しながら進められるよう、資質・能力等について「保護者の方へ」のメッセージが掲載されている。(各教科書巻頭記載)</p> <p>○全ての巻末にアートカードの実践例が掲載されており、対話を通じた鑑賞活動が手軽にできる。</p>	<p>○掲載されている写真はいずれも授業場面であり、指導者が作品だけでなく児童の視点はどこに向けられているかを見ることで、児童の思考にも着目できるよう工夫されている。(1・2上p. 34-35, 3・4上p. 16-17)</p> <p>○デジタルコンテンツの充実が図られ、児童も教師も簡単にICT活用ができるような工夫から児童の興味・関心を高める内容となっている。(5・6上p. 12-13, 5・6上p. 54-55)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(家庭) No. 1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
A	<p>○各題材で「活動」の内容を順番に行うことで、問題解決的な学習がスムーズに進められるように工夫されている。</p> <p>○「いつも確かめよう」に基礎的な技術をまとめ、デジタルコンテンツで児童自身が必要に応じて確認できるよう工夫されている。(p.30-31)</p>	<p>○「話し合おう」や「深めよう」では、デジタルコンテンツを活用し、対話的な学びにつながるよう工夫されている。(p.44,52)</p> <p>○小題材ごとの「めあて」「振り返り」「できたかな?」、見開き1ページの「成長の記録」などで児童自身で学習の振り返りができるよう工夫されている。(p.6,7,17)</p>	<p>○紙面の下部に「メモ」や「ふり返ろう」、「安全のための注意事項」などを示し、主体的な学びを促すよう工夫されている。</p> <p>○デジタルコンテンツ内に「思考ツール」を示し、考えを可視化し主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。(p.37)</p>	<p>○巻頭に衛生・安全を特集した「いつも確かめよう」があり、学びのはじめに調理実習や製作実習等の際の衛生・安全の確認ができるよう配慮されている。(p.8-11)</p> <p>○夏休み前には、「夏休みわくわくチャレンジ!」が設定してあり、学習したことを家庭で実践できるよう工夫されている。(p.35)</p>	<p>○中学校技術・家庭(家庭分野)や他教科と関連のある学習内容を「関連マーク」で示し、関連付けや見通しがもてるよう工夫されている。(p.39,113)</p> <p>○「物を生かして住みやすく」では、下級生へ掃除の仕方を伝える活動が示され、学んだことを身近な学校生活で生かせるよう工夫されている。(p.61)</p>	<p>○関連する内容を5年と6年でできるだけ同時期に配置してあり、複式の指導に配慮している。(p.1)</p> <p>○5年の早い段階で、SDGsについての特設ページがあり、児童が家庭科の学習を進めるにあたって、SDGsの視点をもてるよう工夫されている。(p.43)</p>	<p>○各題材が「見つめよう」「計画しよう・実践しよう」「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の流れで構成されており、問題解決的な学習が進められるように工夫されている。(p.4)</p> <p>○「生活を変えるチャンス!」では、実践への意欲がもて、生活とつながるよう工夫されている。(p.65-67,121,134)</p>
C	<p>○全題材の導入に学習のめあて、マイめあて、ステップ1～3を示し、学習の見通しが立てやすいよう工夫されている。</p> <p>○製作の活用例や作品例が多数掲載され、児童の実態に応じた学びができるよう工夫されている。(p.26,44-47,114-116)</p>	<p>○意見交換や発表の活動の場面が随所に示され、デジタルコンテンツの書き込みカードを使用することで対話的な学びにつながるよう工夫されている。(p.33)</p> <p>○5年で11題材と細かく区切り、スモールステップで反復学習ができるよう設定されており、基礎的な学習内容の定着が図られるよう工夫されている。(p.5)</p>	<p>○紙面の下部にそのページの内容に関連した「豆知識」を示し、主体的な学びを促すよう工夫されている。</p> <p>○デジタルコンテンツ内に触って動かす「動作コンテンツ」を示し、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。(p.19)</p>	<p>○特設ページ「安全と衛生に気をつけて実習しよう」は、実習の流れに沿って示してあり、実習や製作の安全指導がしやすく配慮されている。(p.142)</p> <p>○家族・家庭分野のステップ3「生かす・深める」で、「生活の見方・考え方」の4つの視点で実践例を示し、家庭で実践しやすいよう工夫されている。(p.36)</p>	<p>○小学校で学んだ学習を振り返り、中学校の学習に生かせるように中学校の学習内容が写真やイラストでわかりやすくまとめられている。(p.136-137)</p> <p>○「できるよ家庭の仕事」では、家庭で取り組んだ仕事を記録する活動が示され、学んだことを身近な家庭生活で生かすよう工夫されている。(p.36)</p>	<p>○題材が細かく区切られ組み合わせがしやすく、地域や学校の実態に応じた指導に配慮されている。(p.4)</p> <p>○「キャリアでつながる、持続可能な未来」では、実践者をとりあなげるよう工夫されている。(p.138-139)</p>	<p>○全体を通して「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」のステップで学習が進められるよう設定されており、問題解決的な学習に取り組めるように工夫されている。(p.6-7)</p> <p>○「生活の課題と実せん」の取組を5つのステップや具体例を示すことで、取り組みやすいよう工夫されている。(p.37,80-83)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(保健) No. 1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
A	<p>○自分の考えや気づきを記入するノート欄が多くあり、参加型の学習になる工夫がされている。</p> <p>○目次ページに、健康について今の自分の考えや様子を記入する欄があり、一年後や卒業時に振り返ることで自分の考えの変化をみることができるようになっている。(3・4年p. 3)</p>	<p>○全ての章が4つのステップ(気づく・見つける→調べる・解決する→深める・伝える→まとめる・生かす)で構成され、児童が学習を進める中で考えをもったり整理したりしやすい構成となっている。</p> <p>○3年生の健康への導入で、七夕の短冊を使用しており、「けんこう」というワードを身近に感じられる工夫がされている。(3・4年 p. 6, 7)</p>	<p>○実験や資料の欄に、写真が記載されており興味をもちやすい工夫がされている。(3・4年 p. 20, 22)</p> <p>○各章ともデジタルコンテンツが数多く設定されており、学びを広げたり深めたりしやすいよう工夫されている。</p>	<p>○性の構成要素である4つを示し、性の多様性を表現している。(3・4年p. 38)</p> <p>○各章の最初のページにSDGsの主な目標が示されており、学習を多様な視点から考えたり捉えたりできるようにしている。(3・4年 p. 6, 26, 5・6年 p. 4, 20, 44)</p>	<p>○「飲酒の害と健康」では、20歳になった自分にメッセージを書くことで、学びを自分事として捉える工夫がされている。(5・6年p. 67)</p> <p>○犯罪被害の防止のまとめとして、学級活動や総合の時間を利用して、自分達の地域に目を向け「安全マップ」を作ろうという提案がされている。(5・6年 p. 35)</p>	<p>○どの章でも「まとめ・生かす」場面で、自分の生活を振り返ることで、学びを自分事として活用してこれからの自分について考える工夫がされている。</p> <p>○教科書の記述を補う「言葉の解説」が適切に配置されている。(3・4年p. 35, 41)</p>	<p>○自分の考えや気づきを記入するノート欄が多くあり、参加型の学習になる工夫がされている。</p> <p>○全ての章が4つのステップ(気づく・見つける→調べる・解決する→深める・伝える→まとめる・生かす)で構成され、児童が学習を進める中で考えをもったり整理したりしやすい構成となっている。</p>
B	<p>○1単位時間見開き2ページを基本とした、統一されたレイアウトや、文字のサイズ、折りこみカードなど、学習への集中を高める工夫がされている。</p> <p>○「ここで学ぶこと」で本時のめあてがはっきりと示され、児童の学習に対する構えができるよう工夫されている。</p>	<p>○「けんこうな生活」では、毎日の生活を振り返り、チェックすることで、より自分事として考えやすくなるように工夫されている。(3・4年p. 12, 13)</p> <p>○章の始めに「学習ゲーム」を掲載し、それを通して学習の課題に気付いたり、学習への興味・関心を高めたりできるよう工夫されている。</p>	<p>○夢を叶えるために＝健康という考え方を著名なスポーツ選手を通して関心をもたせる工夫をしている。(5・6年 p. 7)</p> <p>○「体の発育・発達」では、自分の手形を書き写したり、身長を伸ばすことで成長への興味・関心が高められるよう工夫されている。(3・4年p. 25-27)</p>	<p>○「体の発育・発達」では、子どもの成長を祝う行事について紹介し、自分を大切にする気持ちが高められるよう工夫されている。(3・4年p. 38)</p> <p>○「けがの防止」では、実際にあった地震によるブロック塀の事故と同じ状況のイラストについて話し合う学習が設定され、身近な問題として考えられるよう工夫されている。(5・6年p. 34)</p>	<p>○家庭や地域で取り組むとよい活動に「いえで」マークや「ちいきで」マークを付け、学んだことを家庭や地域でも活かせるよう工夫されている。(3・4年 p. 40)</p> <p>○「もっと知りたい」「ミニちいき」「はっぴーん」等の資料を多く掲載し、学習内容に関連した学びを広げ、深められるよう工夫されている。</p>	<p>○各単元の最後にある学年のまとめは、既習事項が活用がしやすくなるように振り返りや表示、記述方法が工夫されている。</p> <p>○「すいみんと成長ホルモン」の図が1日の流れで分かりやすく示してあり、なぜ早く寝るとよいのか理解でき、自分の睡眠を改善しやすくするよう工夫されている。(3・4年 p. 40)</p>	<p>○1単位時間見開き2ページを基本とした、統一されたレイアウトや、文字のサイズ、折りこみカードなど、学習への集中を高める工夫がされている。</p> <p>○章の始めに「学習ゲーム」を掲載し、それを通して学習の課題に気付いたり、学習への興味・関心を高めたりできるよう工夫されている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(保健) No. 2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
M	<p>○毎時間の導入において、保健の見方・考え方を働かせる「課題をつかもう」が設定されており、身近な生活の中から課題を発見できるよう工夫されている。(5・6年p. 24, 25)</p> <p>○図が大きくシンプルで分かりやすく示されている。また説明が簡潔なため、読解が苦手な児童や中学年の児童にとっても、見やすく学びやすい。</p>	<p>○自分の考えと友達の考えを比較しながら学習の振り返りをするこで、より広く深い学びになるよう工夫されている。(3・4年p. 29, 5・6年p. 49, 59, 67)</p> <p>○学習の流れをステップ①→②→③の構成で統一することで、児童にとっても教師にとっても安心して学習(指導)が進められるよう工夫されている。</p>	<p>○各章の導入において著名人のインタビューを取り入れ、児童が興味・関心をもって学び始めるよう工夫されている。</p> <p>○各小単元に、デジタルコンテンツとして「ほけんクイズ」が設定されており、児童がゲーム感覚で楽しみながら学習できるよう工夫されている。</p>	<p>○「体の成長」では個人差を強調してとりあげており、児童が感じる不安に対して配慮がなされている。(3・4年p. 30-37)</p> <p>○「地域の保健活動」では地域で発行される広報誌をとりあげることとで、自分たちの地域に目を向けやすい構成となっている。(5・6年p. 71)</p>	<p>○上手な歯みがきのポイントの中に、歯間を磨くうえで効果的なデンタルフロスがとりあげられている。(5・6年p. 60)</p> <p>○児童の健康や安全に関わる今日的課題が多くとりあげられており、自主学習への活用等が期待できる。(5・6年p. 42, 54, 69)</p>	<p>○見出しや説明なども含め全ての文章が文節で改行されていることに加え、人物イラストの表情が豊かで、児童にとって内容を読み取りやすくなっている。</p> <p>○不安や悩みを和らげる方法についてとりあげ、自主学習への活用等が期待できる。(5・6年p. 21)</p>	<p>○児童の健康や安全に関わる今日的課題が多くとりあげられているとともに、新しい言葉を多くとりあげることにより、時代を反映した内容になっている。</p> <p>○自分の考えと友達の考えを比較しながら学習の振り返りをするこで、より広く深い学びになるよう工夫されている。(3・4年p. 29, 5・6年p. 49, 59, 67)</p>
N	<p>○「体のよりよい発育・発達と生活のしかた」では三大栄養素を「赤色の食品、黄色の食品、緑色の食品」で表し、中学年でも理解しやすいよう工夫されている。(3・4年p. 34)</p> <p>○変化していく身長や体重の伸びが0才児からのものが使われていて、これからどうなっていくのかグラフ(成長曲線)で分かりやすく示されている。(3・4年p. 22)</p>	<p>○「病気の予防」では、児童にとって最も身近で、取組の結果が表れやすい「歯の健康」を4ページにわたってとりあげ、資料も豊富に準備されている。(5・6年p. 61-64)</p> <p>○「心の発達」では感情・社会性・思考力の3つの要素が成長とともにどう変化していくのかを図で表されており理解しやすい。(5・6年p. 4, 5)</p>	<p>○今までの自分と比べる写真が掲載され成長の様子についての興味をもてるよう工夫されている。(3・4年p. 23)</p> <p>○「毎日の生活とけんこう」では、1日の生活リズムについて、「けんこう」「ふけんこう」を明記して例示することで、児童が健康と生活リズムのつながりを意識しやすくなるよう工夫されている。(3・4年p. 8)</p>	<p>○「けがの防止」では、地域での安全を小単元として独立させ、自分たちの住む地域について考えられるよう工夫されている。(5・6年p. 32-37)</p> <p>○自助、共助、公助をとりあげ、自分たちの地域において減災のために何をすべきか、チェックリストを活用して考えられるようになっている。(5・6年p. 42-43)</p>	<p>○各章の最後に「わたしの○○宣言」(自分の宣言を書くページ)が設けられており、学習の最後に生活実践に向けて意識できるよう工夫されている。</p> <p>○手の汚れだけでなく足の裏の汗や汚れ、靴下とハンカチの汚れにも着目し、清潔にするべき場所について工夫されている。(3・4年p. 11-13)</p>	<p>○「交通事故の防止」について、各都道府県の交通事故の死者数、負傷者数を紹介することで、自県の実態を知ったり、他県と比較したりできるように工夫されている。(5・6年p. 26)</p> <p>○「もっと考えよう課」では、世界各国の刑罰を記載するなど薬物の危険性や乱用防止について考えるための工夫がされている。(5・6年p. 77)</p>	<p>○授業で学びが完結するのではなく、学びを生活とどう結びつけるのか、またその後の生活にどう活かすのかを意識した構成となっている。</p> <p>○全国の交通事故の死者数、負傷者数や、一日当たりの犯罪被害の数など、自分たちの地域に目を向けるための資料が多く掲載されている。(5・6年p. 26)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(保健) No. 3

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
0	<p>○身長伸び表が縦に書かれていて計算しやすいよう工夫されている。(3・4年p. 25)</p> <p>○心の健康で人との接し方がとりあげられ、気持ちを大切にされたコミュニケーションや人との距離感について詳しく書かれている。(5・6年p. 18-19)</p>	<p>○各章の最初に、学習内容と身近な生活をつなぐ漫画を掲載し、学習の必要感をもてるように工夫されている。</p> <p>○「さらに広げよう深めよう」で自転車の安全や車の特徴についてとりあげられ動画でも見ることができるよう工夫されている。(5・6年p. 28, 29)</p>	<p>○最初のページに著名な作家と、スポーツ選手等の健康についてのコメントを掲載し、児童の健康への興味を引くよう工夫がされている。</p> <p>○スポーツ障害として児童がなりやすい2つを例としてとりあげている。(3・4年p. 38)</p>	<p>○実生活において、自分の生活を振り返るために、スクリーンタイムと運動・睡眠時間との関係が示されている。(3・4年p. 15)</p> <p>○性に関しての悩みやホットラインが電話番号だけでなく、より細かく記載されている。(3・4年p. 33)</p>	<p>○手の洗い方で洗い残しの多い場所や、爪の生え際などにも着目している。また、よりよい換気の仕方での換気のポイントが図で分かりやすく説明してある。(3・4年p. 20)</p> <p>○「病気の予防」では、新型コロナウイルス感染症をとりあげ、既習事項を使って予防できることなどを紹介し、実生活に生かせるように工夫している。(5・6年p. 46)</p>	<p>○最近よく使われている言葉(すいみんの質)の解説などを取り入れている。(3・4年p. 39)</p> <p>○章の終わりに学習のまとめのページを設けており、易しい選択問題や思考を助けるヒントの提示など、考えをもちやすくなるように工夫されている。</p>	<p>○「さらに広げよう深めよう」として、学習内容のまとめりに豊富な資料を掲げ、学びを広げ、深めるよう配慮されている。</p> <p>○各章の最初に、学習内容と身近な生活をつなぐ漫画を掲載し、学習の必要感をもてるように工夫されている。</p>
P	<p>○悩みの対処法やリラクセスの方法について4ページにわたってとりあげている。具体的な記述が多く、児童にとって取り組みやすい内容になっている。(5・6年p. 20-23)</p> <p>○1単位時間4ページの基本構成とし、3つのピースを完成させるという流れにより見通しをもって学習ができるように配慮されている。</p>	<p>○毎時間の流れを統一し、「個人思考」「集団での思考」「学びの活用」を繰り返すことで、思考力、判断力、表現力を着実に身に付けることができるよう工夫されている。</p> <p>○「体の発育・発達」のデジタルコンテンツでは、数値を入力するだけでグラフが完成するなど作業が簡略化され、思考の時間が確保されている。(3・4年p. 29)</p>	<p>○「体の発育・発達」では、身長伸びを紙テープを切って貼ることにより、楽しみながら成長や変化が実感できるよう工夫されている。(3・4年p. 44)</p> <p>○各章の最初に、学習の目標や、学習内容と関連した疑問が示されており、見通しや考えをもって学習に入ることができるよう工夫されている。</p>	<p>○「ほけんのはこ」では、学習内容に関わる様々な資料を提示し、より学びを広げたり深めたりすることにつながっている。(5・6年p. 11)</p> <p>○振り返りシートの中に「もっと学習したいこと」を書く欄が設けてあり、児童が学びを生活に生かしたり結びつけたりして考えられるようになっている。</p>	<p>○各章の振り返り場面では、「誰かに伝えたいと思ったこと」を書く欄が設定されている。(3・4年p. 26, 46, 5・6年p. 24, 48, 84)</p> <p>○各章のとびらのページ「つなぐ」では、学習内容と関連の深い職業を紹介し、インタビューを掲載するなど、キャリア教育の視点とつなぐ工夫がされている。</p>	<p>○ほぼ全ての小単元に「話し合い」場面が設定されており、対話的・協働的な学びへのつながりを意識した構成となっている。</p> <p>○「かがくの目」として、実験の場面や写真を通して「見えないもの見える化」し、科学的な理解に結びつける工夫がされている。</p>	<p>○毎時間の流れを統一し、「個人思考」「集団での思考」「学びの活用」を繰り返すことで、思考力、判断力、表現力を着実に身に付けることができるよう工夫されている。</p> <p>○「もっと学習したいこと」「誰かに伝えたいと思ったこと」を書き込む欄が設定されており、学びを実生活に生かす視点が盛り込まれている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(外国語) No. 1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
A	<p>○5年生のテーマは「日本でつながるわたしたち」、6年生のテーマは「世界とつながるわたしたち」となっており、発達の段階に応じた広がりのあるテーマ設定となっている。</p> <p>○各学年の教科書の総ページ数及びUnit数は、5・6年ともに8 Unit 96ページである。</p>	<p>○Our Goalの映像を単元導入時に見ることで、クラス全体で単元の見通しをもちながら、児童が学習に取り組めるように配慮されている。(5年p.8)</p> <p>○ページ下にSmall talk, Sounds and Lettersを設けて、帯活動につなげたり、関連するページを探したりしやすいよう工夫されている。(5年p.9)</p>	<p>○「カタカナ英語」や「産地調べ」等、児童の興味・関心を引くトピックや目的・場面・状況を伴った言語活動が設定されている。(5年p.41, 6年p.48)</p> <p>○写真やイラストが多用されており、児童がトピックについて興味をもったり、場面を想起したりしやすいよう工夫されている。(6年p.38-39)</p>	<p>○Unitごとに書く活動Sounds and Lettersのページがあり、表現力を系統的・計画的に身に付けることができるよう工夫されている。</p> <p>○Enjoy CommunicationではYour Goalに向けて、既習表現を確認し、それらをもとにスモールステップで会話の内容を広げられるよう工夫されている。(5年p.12-13)</p>	<p>○身近なことから日本の紹介へと視野が広がるよう「自分のこと→身近な地域→日本のこと」というように単元構成が工夫されている。(5年p.4)</p> <p>○総合的な学習の時間で扱われる「環境問題」と関連した内容がとりあげられ、主体的な学びができるよう工夫されている。(6年p.60-65)</p>	<p>○二次元コードからDigital Mapへアクセスでき、日本や世界の名所や名物を調べたり、紹介する活動で使ったりすることができるよう工夫されている。(5年p.76, 6年p.40)</p> <p>○適切な学習評価のために、各単元の誌面をポートフォリオとして活用できるよう工夫されている。(5年p.10-13)</p>	<p>○見通しをもって学習が進められるよう、スモールステップの単元構成となっており、児童も指導者も学習の流れがよくわかるよう工夫されている。(5年p.8-13, 6年p.6-11)</p> <p>○アプローチを変えながら、スパイラルに活動が配置されており、確実な言語材料の定着を図ることができる構成となっている。</p>
C	<p>○各学年巻末折込には、単元ごとの「CAN-DOチェック」が示されており、各単元で身に付けるべき英語表現や技能について見通しをもったり、自己評価したりできるよう工夫されている。(各学年p.128)</p> <p>○各学年の教科書の総ページ数及びLesson数は、5・6年ともに8 Lesson 128ページである。</p>	<p>○見開きごとに「学習のめあて」が明示されており、子どもと指導者がめざす姿を共有しながら、学習に取り組むことができるよう工夫されている。</p> <p>○Let's Checkでは何が身についたか、何ができるようになったかをペーパーテストとパフォーマンステストの両方で確かめることができるよう工夫されている。(各学年3回分)</p>	<p>○Let's Watch and ThinkやWord Box等児童が自らの課題に応じて学習できるよう、デジタルコンテンツが充実した内容となっている。</p> <p>○「サイモン・セズ・ゲーム」や「ジェスチャーゲーム」など児童の興味・関心を引くゲームが複数示されている。(6年p.36, p.98)</p>	<p>○Sounds and Lettersでは、英語を書くページがまとめてあることにより、児童が学びの連続性を感じるように工夫されている。(5年p.112-119, 6年p.112-119)</p> <p>○Let's Watch and Thinkでは世界の子どもの生活や文化などを紹介し、異文化への理解を深め、自他を尊重する態度を養えるよう工夫されている。(6年p.20)</p>	<p>○SDGs、「伝統・文化」、「防災・安全」など社会的な課題を題材に盛り込むことで、子どもの視野を広げるとともに、持続可能な社会の担い手育成が意図されている。</p> <p>○評価領域・観点、他教科や教育課程との関連について単元冒頭に記載されている。(5年p.15, 6年p.15)</p>	<p>○別冊Word bookが学年ごとについており、各学年で学習する英語や表現がまとめられ、話したり書いたりする際に役立つ内容となっている。</p> <p>○各学年で学んだ表現についてまとめられて教科や教育課程との関連について単元冒頭に記載されている。(巻末)</p>	<p>○「3・4年で学習したこと」と「5年で学習したこと」や「授業で使える20の表現」がまとめられており、学習の連続性が感じられるよう工夫されている。(5・6年p.8-11)</p> <p>○聞くことから話すこと、そして読むこと書くことの順に活動が並べられ、スモールステップを意図した構成となっている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(外国語) No. 2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
E	<p>○教科書の総ページ数及びLesson数は、5・6年ともに7 Lesson112ページである。</p> <p>○教科書全体が3つのUnitでまとめられており、各Unitは自らのゴールを設定するHOP、語句や表現を身につけるSTEP、まとめの言語活動をおこなうJUMPで構成され、HOP、STEPで習得した内容をJUMPの活動で生かす構成となっている。</p>	<p>○JUMPにおいては学習段階が見開きで示され、児童が目標を定め、どのように学習を進めたらよいかかわかりやすく示されている。(5年p. 34-35, 6年p. 34-35)</p> <p>○各Lessonは、Partごとにめあてが示され、Let's WatchからLet's Read & Writeが基本構成となっており、インプットの活動から文字を読む、書く活動へと学習が段階的に高まるよう工夫されている。</p>	<p>○小単元の最初の見開きページのイラストに英単語が記載され、児童の文字への関心を高められるよう工夫されている。(5年p. 64-65)</p> <p>○Hello, World!では世界の祭りやスポーツ、文化など様々な話題をとりあげ、世界への興味・関心がもてるよう工夫されている。(5年p. 50-51, 6年p. 20-21)</p>	<p>○各学年の巻末、「英語でこんなことができたい！」では、簡易的なCAN-DOリストが示され、具体的にその学年で身に付けた内容が振り返られるよう工夫されている。(全学年p. 110)</p> <p>○ABC Fun Boxでは、アルファベットの大小文字やLessonを通して慣れ親しんだ語句を扱い、スモールステップで文字を習得できるよう工夫されている。(5年p. 62)</p>	<p>○活動を動画に記録して、後でお互いに見合うなどの例が示されており、児童のICT活用を促し、より豊かにコミュニケーションが図れるよう工夫されている。(5年p. 81, 6年p. 41)</p> <p>○国語、社会、算数、プログラミング等他教科等と連携した様々な題材・活動やSDGsなど今日的な課題について示されている。(5年p. 106-107, 6年p. 96-97)</p>	<p>○Hello, World!では、日本に目を向けたら異文化に触れたりすることができるよう配慮されている。(5年p. 50, 92, 6年p. 20, 62, 92)</p> <p>○「世界のおはなし」では、児童がよく知っている物語をとりあげることによって負担感を軽減し、達成感を感じられるよう工夫されている。(5年p. 39, 79, 109, 6年p. 39, 79, 107)</p>	<p>○見通しをもって学習が進められるよう、スモールステップの単元構成となっており、児童も指導者も学習の流れがよくわかるよう工夫されている。(5年p. 8-13, 6年p. 6-11)</p> <p>○アプローチを変えながら、スパイラルに活動が配置されており、確実な言語材料の定着を図ることができる構成となっている。</p>
F	<p>○各学年の教科書の総ページ数及びLesson数は、5年9 Lesson116ページ、6年8 Lesson108ページである。</p> <p>○教科書冒頭には、学びの見通しが立てやすいロードマップがあり、中学年から高学年そして、中学校への学びの連続性を自覚できるつくりになっている。</p>	<p>○「することができるといえる内容を通して動物を通して考える工夫がされており、児童が考えやすい構成になっている。(5年p. 55)</p> <p>○Lessonごとに、目指す姿、振り返りを記入する欄が設けられており、学習にどう取り組む、どのような力を身につけたいかイメージをもちながら学習に取り組めるよう工夫されている。</p>	<p>○写真や児童にとってなじみ深いキャラクターや有名人が用いられており、児童の意欲を高めたり、具体的にイメージをもたせたりすることができるよう工夫されている。(5年p. 20, 25, 33, 56, 99)</p> <p>○活動シール、カード、ワークシートなど巻末教材が充実しておおきく、児童の表現意欲を引き出すことができるよう工夫されている。(5, 6年巻末)</p>	<p>○「知らない英語の言葉に出会ったら」では、和英辞典の使い方が紹介されており、発展的な学習につながるよう工夫されている。(6年p. 99)</p> <p>○既習内容を振り返るLet's Start Togetherやアルファベットの学習に関する点つなぎなど、文字や音声に少しずつ慣れ親しみ、ステップアップできるよう工夫されている。(5年p. 6-11, 28, 6年p. 6-9)</p>	<p>○災害時の対応に関する表現が紹介されており、実生活につながるような練習ができるよう工夫されている。(5年p. 40)</p> <p>○Let's Look at the Worldでは、アメリカの手話を扱っており、コミュニケーションの手段は多様であることに気づけるよう工夫されている。(5年p. 87)</p>	<p>○日本の名所・名物を示した地図が折り込みで入っており、見やすいよう工夫されている。(5年p. 66-69)</p> <p>○Let's Singの音声やLet's Watchの動画等、児童が自らの課題に応じて自分のペースで学習できるようにデジタルコンテンツを充実させている。(6年p. 70, 72)</p>	<p>○ゴールの活動にワークシートを使用することで、児童が自分の学びを実感でき、達成感と表現意欲を高められるよう工夫されている。(6年巻末)</p> <p>○インクルーシブ教育を意図した登場人物や題材が扱われている。(5, 6年表紙, 6年p. 10-11)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(外国語) No. 3

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
I	<p>○「5(6)年生でできるようになること」では、領域ごとに学習したことが確認できるよう工夫されている。(全学年p. 8-9)</p> <p>○各学年の教科書の総ページ数及びUnit数は、それぞれ8 Unit110ページである。</p>	<p>○ページの下部にある「発音」では、発音のポイントを分かりやすく示している。(5年p. 72)</p> <p>○各Unitは見開きごとに1単位時間の授業内容が示されている。活動を順に進めることで、学習が高まる構成になっている。(6年p. 14-21)</p>	<p>○児童に親しみのあるイラストが描かれたり、場面設定が日本語で説明されたりするなど、児童の興味・関心が高まるよう工夫されている。(5年p. 54)</p> <p>○You can do it!ではUnitで学んできた表現を中心に「やりとり」や「発表」による記録に残す評価を行うことができるよう工夫されている。(6年p. 42-43)</p>	<p>○「言葉について考えよう」では、異文化に対する理解を深めたり、自分の思いをより伝えられるようにするための工夫を考えたりするなど、コミュニケーション能力の育成が強く意図された内容となっている。(6年p. 30, 60, 82)</p> <p>○言語活動例のplus Oneでは、既習表現を活用し、会話を続けるアイデアが示されている。(6年p. 79)</p>	<p>○環境問題や他教科との関連を図った単元を設定している。理科で学ぶ食物連鎖の知識をヒントに考えられるよう工夫されている。(6年p. 55-59)</p> <p>○日本語と英語の違いに気付くために、身近な語彙を題材に気づきが引き出されるよう工夫されている。(5年p. 66)</p>	<p>○「ICTを活用しよう」では、1人1台端末を用いた活動例が多く示されており、コミュニケーション能力を高める工夫がなされている。(5年p. 89, 6年p. 61)</p> <p>○巻末にPicture Dictionaryが付けられている。言いたい言葉を探したり、教科書の四線に書き写したりする際に活用できる工夫がなされている。</p>	<p>○単元の最初のページに、最終ゴールとそれぞれの時間の主活動が明記され、各単元の見通しがもてるよう工夫されている。(5年p. 81)</p> <p>○互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動が設定され、相手を意識したやり取りができるよう配慮されている。(6年p. 81)</p>
K	<p>○活動が精選されており、1単位時間の内容が余裕をもって指導できる分量となっている。</p> <p>○各学年の教科書の総ページ数及びUnit数は、それぞれ8 Unit132ページである。</p>	<p>○Say and Writeでは、書き方のコツが示され、児童がコツを意識して書くことができるよう工夫されている。(6年p. 13)</p> <p>○学習の見通しがもてるよう、各Unitの始めにGOALとSTEPのめあてが提示されている。</p>	<p>○児童にとって身近な有名人をとりあげることで、興味・関心を高められるよう工夫されている。(6年p. 60-61)</p> <p>○Did you know?やDid you know?プラスでは異文化情報などを扱い、児童の興味・関心が高められるよう工夫されている。(5年p. 40, 44)</p>	<p>○Challengeでは、ユニットで学んだことを生かした発展的な課題があり、児童が主体的に学びに向かえるよう工夫されている。(5年p. 43)</p> <p>○Watch the SceneやIntroductionでは映像やイラストを手がかりに推測して考えられるよう工夫されている。(5年p. 32-33)</p>	<p>○道案内の活動で、地図記号が用いられた地図を扱うことにより、社会科で学習した内容との関連がもてるよう配慮されている。(5年p. 82-85)</p> <p>○毎単元末のLook Backでは、できるようになったことだけでなく、実際のどんな場面で使いたいか考え、学習したことを実生活に生かすことができるよう工夫されている。(5年p. 86)</p>	<p>○ページ番号に英語が併記されており、文字とのつながりが意識できるよう工夫されている。</p> <p>○英語を書く四線の幅が等間隔に近づけてあり、中学校への接続がスムーズになるよう工夫されている。</p>	<p>○文字の名前読みと形を識別して書くことを学び、音読みについて学べるよう、各単元の最後にLet's Read and Writeが設定されている。</p> <p>○家庭で学習ができるよう、各ページにデジタルコンテンツが数多く用意されている。(5年p. 13, 6年p. 41)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(特別の教科道徳) No. 1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
A	<p>○「はしのうえのおおかみ」では道徳的価値に迫る場面でイメージがしやすいようなイラストや写真が掲示してある。また価値を押しつけるような表現を避け、文章が精選されている。(1年p. 34)</p> <p>○「見えた答案」では、人物の心情を説明する文言が削減され、児童の多様な考え方を引き出せるように配慮されている。(5年p. 19)</p>	<p>○各学年とも、いじめ防止にかかわる内容が「いじめ」「いのち」「じぶん」という3つのユニットで構成されており、繰り返しいじめの防止について考えることができるように工夫されている。(3年p. 37, 67, 129)</p> <p>○「日ごろの気持ちをたえよう」では、絵を選んで実際に手紙を書く活動を通して価値にせまることができるよう工夫されている。(4年p. 69)</p>	<p>○低学年の教材を中心に大判の写真やパズル等児童の興味を引くような教材を扱っている。(1年p. 46, 82)</p> <p>○朗読や字幕付きスライドショー、デジタルノートが利用できる二次元コードが全教材についており、児童の関心を高めるよう工夫されている。</p>	<p>○「愛華さんからのメッセージ」では、島根県出身の児童が書いた本をとりあげ、島根の児童の興味を高めている。(6年p. 104)</p> <p>○高学年の「いじめ」については、法律や条約を提示し、児童の見方や考え方を広げるよう配慮されている。(6年p. 36)</p>	<p>○「ふっかちゃんの町じまん」では日本各地のキャラクターも紹介されており、自分の県に興味をもち、社会科等と関連させて学習できるよう工夫されている。(3年p. 20)</p> <p>○教材末に「つながる・広がる」として、他教科と関連付け発展的な学びを促す工夫がある。(3年p. 14)</p>	<p>○思考ツールの紹介のほか、4年生以上には心情円が付属しており、考えを可視化することで、児童が多様な考え方があることに気づくための配慮がある。(6年p. 193)</p>	<p>○いじめ防止にかかわる内容が「いじめ」「いのち」「じぶん」の観点ごとのユニットで構成されている。各ユニットを1年間の適時に担当し、いじめ防止について多面的に繰り返し考えられるように工夫されている。(3年p. 37, 67, 129)</p> <p>○教材末に「つながる・広がる」を配置し、他教科と関連付け発展的な学びを促す工夫がある。(6年p. 24)</p>
F	<p>○内容項目を充足する本教材30本その他、5本の補充教材が掲載されており、学校独自のカリキュラムが作れるよう工夫されている。</p> <p>○高学年の教材に出てくる難しい言葉の多くについて、直接教材文の下に目立つように注釈を設けてあり、内容理解がしやすいよう配慮されている。(6年p. 8)</p>	<p>○教材末の学習の手引きには、場面発問とテーマ発問の二つの発問が示されており、児童が多面的・多角的に考えられるように工夫されている。(6年p. 20)</p> <p>○各学年とも役割演技や動作化に取り組むように投げかけたり、自分だったらどうするかと問いかけたりと、課題について自分事として考えられるよう工夫されている。(2年p. 39, 56)</p>	<p>○今話題の人物などをとりあげ、児童の興味・関心を高めるよう工夫されている。特に高学年で7～9人の人物をとりあげ、生き方から学ぶことができるよう工夫されている。</p> <p>○5・6年の教材には、写真やグラフ、図表などを多く使い、興味・関心を高めるよう工夫されている。(5年p. 107, 112, 6年p. 139)</p>	<p>○各学年に「モラルスキルトレーニング」を取り入れた教材が設定されており、体験を通して人としての行動について考えを深められるよう工夫されている。(6年p. 80)</p> <p>○低学年の巻末には「みにつけようれいぎ・マナー」の資料が掲載されており、身につけていきたいよりよいふるまいについて紹介されている。(1年p. 150, 2年p. 148)</p>	<p>○各学年で重点テーマを設定し、「教材＋コラム」の構成をユニット化し、学びを広げることができるようにしている。(4年p. 20, 24)</p> <p>○高学年教材では、LGBTQについて考えるきっかけとなりうる教材を配しており、偏見をもたず差別をしない心の育成に配慮がされている。(6年p. 50)</p>	<p>○巻末の「学習をふり返ろう」「一年間の学習をふり返ろう」のページは、切り離せるようになっており、学期ごとの評価、一年間の評価に活用できるよう工夫されている。(4年巻末p. 1)</p>	<p>○低学年の巻末には「みにつけようれいぎ・マナー」の資料が掲載されており、身につけていきたいよりよいふるまいについて紹介されている。(1年p. 150, 2年p. 148)</p> <p>○学習の手引きに、場面発問とテーマ発問が提示されたり、役割演技や動作化の活動を多く取り入れたりと、多面的・多角的に考えるための工夫がされている。(5年p. 93)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(特別の教科道徳) No. 2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
I	<p>○「学びの道具箱」で発達の段階に応じた対話や思考の整理の方法を紹介するとともに、それらを活用した学びが提示され、児童が多面的・多角的に思考したり対話したりできるように工夫されている。(3年p. 172, 6年p. 204)</p> <p>○巻頭で道徳の学びの全体像をイラストで示し、一年間の学びの見通しや関心をもたせている。(3年p. 4)</p>	<p>○「心をかよわそう」などのページがあり、話合いの仕方や友達との接し方を学べるよう工夫されている。(2年p. 34, 6年p. 78)</p> <p>○段階的に話合いの力を育ていけるよう、対話スキルを高める活動に繰り返し取り組むように構成され、高学年では対話をもとに納得解を見いだす経験ができるように工夫された教材が掲載されている。(5年p. 164, 6年p. 171)</p>	<p>○全学年で美しく迫力のある挿絵や写真を用いた教材や漫画形式の教材が掲載され、視覚的に関心を喚起するよう工夫されている。(2年p. 118, 4年p. 142)</p> <p>○「夢を実現するためには」では、夢を叶えた野球選手が夢の実現のためにしたことを具体的に掲載し、児童も共感的に学習できるように工夫されている。(5年p. 16)</p>	<p>○日本語に不慣れな児童の支援となるよう、「学校で使う日本語」を文字と音声で確認できるデジタルコンテンツが利用できるようになっている。</p> <p>○3年以上の巻末に、日本各地の伝統文化や地域の活動が紹介され、自分の住む地域のよさを追究しようとする発展的な学びの助けとして活用できるようになっている。(3年p. 174)</p>	<p>○情報モラル等に関するコラムには「家の人といっしょに考えてほしいこと」のマーク、環境や共生を扱ったコラムには「夏休み・冬休みに調べてみよう」のコーナーがあり、家庭・地域での自主的な学びにつなげる工夫がある。(4年p. 65, 86)</p> <p>○「わたしたちの校歌」では、音楽や国語など、他教科につなげることができるよう工夫されている。(4年p. 88)</p>	<p>○全学年を通して「なんだろうなんだろう」という見開きのページを設け、発達の段階に合わせたテーマで考えを深めることができるよう工夫されている。(2年p. 86)</p>	<p>○思考ツールや対話スキルを活用することで、多面的・多角的に考え、協働して問題解決に取り組めるように工夫されている。(2年p. 58, 4年p. 180)</p> <p>○迫力があり美しい写真や挿絵をダイナミックに配し、児童の関心を高めたり、感性に訴えたりする効果を生み出すよう工夫されている。(3年p. 38, 5年p. 63)</p>
L	<p>○必ず見開きで始まるように教材が配置され、教材の内容に集中しやすいよう配慮されている。(4年p. 148)</p> <p>○標準の35時間分の教材に加え、付録として3～4教材が収められており、児童の実態に合わせて入れ替えて指導できるように工夫されている。</p>	<p>○教材名の後に、リード文と登場人物が示されており、教材内容の理解を助け、関心を高められるように配慮されている。(2年p. 38)</p> <p>○複数教材で「ぐっと深める」が設定され、問題解決的な学習や体験的な学習、また様々な手法を取り入れた展開が例示され、自分の考えを深めたり話し合ったりする学習活動が示唆されている。(1年p. 70)</p>	<p>○デジタルコンテンツによって、話合い、役割演技や体験、書くことについて、具体例を示した動画を視聴することができ、「考え、議論する道徳」が視覚的に捉えられるよう工夫されている。</p> <p>○「のび太に学ぼう」では、児童に親しみのあるキャラクターのすてきな面をみることで自己の生き方を考えることができるよう工夫されている。(5年p. 6)</p>	<p>○3年の「心のベンチ」の「地いきを語ろう」では、6つの視点で地域を見つめ素敵なところを見いだす活動が提示されており、ふりかえりできるように工夫されている。(3年p. 149)</p> <p>○いじめを間接的に扱った教材と直接的に扱った教材を組み合わせたいじめ防止ユニット「人との関わり」が各学年で3つ配置されている。(3年目次)</p>	<p>○各学年の「心のベンチ」のコーナーには、本教材とは異なった角度から問題を考える素材が例示され、児童の見方、考え方を広げることができるように配慮されている。(5年p. 140)</p> <p>○巻末「見つけた！ここにもどうとく」には、各学年で扱った内容項目と関連する写真が提示され、道徳科で学んだことを身近な生活とつなげて考えられるよう配慮されている。(2年p. 166)</p>	<p>○「道徳ノート」が別冊としてついている。題材ごとに自分の感じたことや考えたことを自由に記述できるように配慮されている。</p>	<p>○コラム「心のベンチ」は、教材で示される主題などをより多面的・多角的に考えることができるよう工夫されており、実生活や他教科との関連も考慮されている。(2年p. 134)</p> <p>○付属の道徳ノートは、題材ごとに自分の考えや友達の意見、考えを整理した図など、考えを深めたりまとめるために自由に使えるよう工夫されている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(特別の教科道徳) No. 3

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
0	<p>○巻頭のオリエンテーションでは、見直しをもって道徳を学べるように、問いを見つけ、考えを深め、授業後に広げていく一連の学習の流れを紹介している。(全学年p. 2-9)</p> <p>○標準の35時間(1年は34時間)に加え、1年は6本、2～6年は5本の付録教材を掲載し、児童の実態に合わせて入れ替えて指導できるように工夫されている。</p>	<p>○「みんなのつくえ」などでは、導入と終末で同じ発問をすることで、自己の考えの変化に気づきやすくしている。(5年p. 26)</p> <p>○「すてきなことば『あふたあゆう』」「一年生のお世話係-アフター・ユ-」では、同じ活動について視点を変えたとともに、学年をまたいでとりあげる構成になっている。(1年p. 76, 6年p. 10)</p>	<p>○一枚絵や大きな写真、漫画、実話に基づく教材など、意欲・関心を高める工夫がされている。(1年p. 152, 4年p. 128)</p> <p>○デジタルコンテンツでは、関連資料や音声、教材理解サポートのための画像等の他に、教材に登場する人たちからのメッセージを視聴することができ、児童の関心を高めるように工夫されている。(5年p. 122)</p>	<p>○「シンボルマークにこめられたものは」では、島根県の県章がとりあげられ、地域への関心を高めている。(5年p. 48)</p> <p>○全学年の重点主題「いじめを生まない心」と「情報モラル」について、各学年に応じた内容で継続的に学ぶことができるように工夫されている。(2年p. 17-23)</p>	<p>○「へこんでも立ちなおる」を全学年に設けて、児童自身が自分の心の力について考え、自分の良さや可能性を認識し、自己肯定感を高める工夫がされている。(2年p. 104)</p> <p>○各教材末の「ひろげよう」では、道徳科で学んだことを他教科、家庭や学校での生活、地域社会へのつながりをもたせ広げていくためのポイントを示している。(3年p. 13)</p>	<p>○巻末の自己評価シートは、低学年は顔の表情で、3年以上は矢印で自分の心の中を表現し、2年以上はコメントも添えた記録を蓄積していくことで、自分の成長を実感し新たな目標を見いだせるよう配慮されている。(全学年巻末)</p>	<p>○「へこんでも立ち直る」を全学年に設けて、児童自身が自分の心の力について考え、自分の良さや可能性を認識し、自己肯定感を高める工夫がされている。(5年p. 148)</p> <p>○巻頭に「ゆたかな心」が設置され、各学年で「何を、どのように学ぶのか」を明らかにし、目的意識をもって学習に取り組むことができるように配慮されている。(全学年p. 2-9)</p>
P	<p>○「いのち」を最重要テーマとして全学年で3教材を配置し、「いのちのユニット」で複数教材を組み合わせ、多面的・多角的に考えさせている。(5年p. 35)</p> <p>○「森のみんなと」では、だれの言葉かがわかるようセリフの上に登場人物の名前が書いてあり、内容理解がしやすいよう配慮されている。(2年p. 20)</p>	<p>○教材本文以前には、キーフレーズのみが提示され、児童が見いだした問いをもとに学習できるように配慮されている。(5年p. 72)</p> <p>○教材末は、道徳的価値について考える発問や自己を振り返る発問に絞って掲載されており、授業時間や発達の段階に合った適切な数、内容となるよう配慮されている。(5年p. 159)</p>	<p>○42人の人物をとりあげて様々な人物の生き方に触れて興味・関心を高めながら、自己を深める構成にしている。</p> <p>○ユニット内に、次の教材を紹介するキャラクターの提示があり、テーマを意識して教材に出会えるように工夫されている。(5年p. 97)</p>	<p>○「いのち」「多様性」「キャリア」の3つのテーマのユニットを配置して、多面的・多角的に考えを深めることができるように工夫されている。(6年目次)</p> <p>○「ないものはない」では、島根県海士町を教材としてとりあげ、島根県のよさと関連付けて学習できる内容となっている。(4年p. 76)</p>	<p>○「心のパスポート」の特設ページでは、様々な視点から、他教科と関連する情報や実生活と関連させて考えを広げる工夫がされている。(4年p. 121)</p> <p>○日本各地に関連のある教材や資料では、写真を多く取り入れて児童の関心を高め、他教科に関連させて学習できる内容となっている。(6年p. 124)</p>	<p>○巻末には「つなげよう 広げよう」のページがあり、心に残った話や出来事を振り返ったり、次の学年の自分へメッセージを書いたりできるようにしている。(3年p. 156)</p>	<p>○主体的な学びを重視し、紙面での発問やデジタルコンテンツの内容と量は、児童の思考を狭めたり妨げたりしないように厳選し、適切に配置するよう工夫されている。(2年p. 119)</p> <p>○最重要テーマとして「いのち」を掲げ、「生命尊重」以外にも複数の内容項目の教材を組み合わせ、生命の大切さについて多面的・多角的な思考を促している。(6年目次)</p>